

**平成25年度授業改善アンケート
調査結果報告書**

平成26年3月

名城大学 FD委員会

目次

授業改善アンケートについて	1
サマリー	2
〔調査実施資料〕	
調査概要と対象者属性	3
アンケート用紙	4
自由設定項目記載用紙	6
〔授業科目の改善ポイント〕	
1 授業科目の集計結果	7
2 授業改善アンケートの見方	8
3 理解度の変化	10
4 調査結果のまとめ	13
5 学部別改善ポイント	15
〔学部別分析結果〕	
6 理解度から見た改善優先項目	17
7 基礎知識別の理解度	29
8 理解度と自学自習時間の関係	30
9 出席率	34
10 出席学生数と出席学生規模別理解度	35
〔設問別集計結果〕	
11 学生評価の時系列比較	36
12 基礎データ学生用設問	37

授業改善アンケートについて

平素は、本学の FD 活動にご協力いただきありがとうございます。

例年、授業改善アンケートは、90%以上の実施率を誇っています。これも、貴重な授業時間を割いてアンケートにご対応いただく数多くの先生方のご理解のおかげであり、FD 活動に対する熱意の表れであります。おかげをもちまして、貴重なデータを収集・蓄積することができました。厚くお礼申し上げます。

本学は FD 活動を始動した平成 12 年度から、学生による授業評価アンケートを継続して実施し、授業満足度アンケート、授業改善アンケートと名称は変更されても毎年度の FD 委員会担当において教育力の向上につながるようにアンケート結果の分析や内容を改善してまいりました。

今年度の授業改善アンケートの大きな変更点は、これまでのアンケート方法は尊重しつつも、授業満足度に代わり、「理解度」を軸に据え、分析を行うこととしたことにあります。また、この数年間は、教員・学生双方のアンケート結果を比較し、意識のギャップを比較してきましたが、学生の意見をより真摯に受け止めることを旨として、学生対象のアンケートのみを実施することといたしました。

上記に加え、アンケート項目も一部変更していますので、多くの先生方から今年度の授業改善アンケートについて、アンケート項目に対するご意見をいただきました。いただいたご意見は、アンケートの原案を検討する「授業改善アンケートワーキンググループ」において対応策を検討し、平成 26 年度の授業改善アンケートの実施につなげてまいります。

今後も本学の授業改善につなげられる「授業改善アンケート」の実施を継続してまいりますので、引き続き、アンケートの実施においてはご協力賜りますようお願いいたします。

名城大学 FD 委員会

サマリー

平成 25 年度前期アンケート調査の概要

○学生の理解度の変化 (Page.10-11)

全学の学生の理解度は 45.6%で、24 年度前期より 4.2 ポイント増加した。

○改善優先度の高い項目 (Page.17-18)

高いポイントが示された「改善優先度」の項目については、以下のとおりです。ポイントが高いほど、その項目については改善が求められています。

1. 「興味喚起」 44.2 ポイント

質問項目：この授業によって、学問への興味・関心が引き起こされた

2. 「目標到達」 37.6 ポイント

質問項目：この授業ではシラバスに示されている到達目標を達成できた

3. 「理解配慮」 33.5 ポイント

質問項目：この授業では学生の理解度を確認しながら進められている

平成 25 年度後期アンケート調査の概要

○学生の理解度の変化 (Page.10、12)

全学の学生の理解度は 45.8%で、24 年度後期より 2.5 ポイント増加した。

○改善優先度の高い項目 (Page.17-18)

高いポイントが示された「改善優先度」の項目については、以下のとおりです。ポイントが高いほど、その項目については改善が求められています。

1. 「興味喚起」 41.8 ポイント

質問項目：この授業によって、学問への興味・関心が引き起こされた

2. 「目標到達」 34.9 ポイント

質問項目：この授業ではシラバスに示されている到達目標を達成できた

3. 「理解配慮」 30.4 ポイント

質問項目：この授業では学生の理解度を確認しながら進められている

調査概要と対象者属性

目的

学生の視点から授業改善の手がかりを探り、授業改善につなげることで教育の質を向上させることを目的とします。

調査方法

アンケート用紙による自記式アンケート

調査主体

FD委員会

実施期間・対象授業・回答者属性

	25年度前期	25年度後期
実施期間	2013.7.2 ~ 2013.7.20	2013.12.17 ~ 2014.1.11
対象授業	<p>学部の授業を担当する常勤教員と非常勤講師を対象とし、担当授業のうち最も履修者が多い講義科目において実施しました。</p> <p>ただし以下のいずれかの項目に該当する授業は対象から除きました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体育科目 ・ リレー方式で開講されている科目 ・ 実験・実習・演習など講義以外の科目 ・ 履修登録者数が10名未満の科目 	<p>学部の授業を担当する常勤教員と非常勤講師を対象とし、平成24年度後期にアンケートを実施した講義科目において実施しました。なお、平成24年度後期にアンケートを実施していない場合は、担当授業のうち最も履修者が多い講義科目において実施しました。</p> <p>ただし以下のいずれかの項目に該当する授業は対象から除きました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体育科目 ・ リレー方式で開講されている科目 ・ 実験・実習・演習など講義以外の科目 ・ 履修登録者数が10名未満の科目
回答者属性	<p>○学生 53,379人</p> <p>○772設定授業中 740授業で実施 実施率95.9%</p> <p>○教員コメント記載件数 300件 (740実施授業中 300件のコメント 記載率40.5%)</p>	<p>○学生 37,841人</p> <p>○696設定授業中 638授業で実施 実施率91.7%</p> <p>○教員コメント記載件数 223件 (638実施授業中 223件のコメント 記載率35.0%)</p> <p>(※)冊子刊行納期の関係上、アンケートの一部は集計に含まれておりません。</p>

開講学部別回答者数

	25年度前期			25年度後期		
	実施 授業数	学生		実施 授業数	学生	
		常勤 授業受講	非常勤 授業受講		常勤 授業受講	非常勤 授業受講
法学部	97	2,680	3,104	81	1,847	1,456
経営学部	38	3,192	550	37	2,456	482
経済学部	26	3,483	441	25	2,199	262
理工学部	260	10,110	5,979	243	8,626	4,859
農学部	45	3,430	898	43	3,087	642
薬学部	83	7,251	449	40	3,518	272
都市情報学部	41	2,538	565	38	1,530	767
人間学部	26	2,215	406	17	1,265	58
教職課程・学芸員課程	27	642	730	18	323	500
全学共通教育部門	97	1,369	3,347	96	1,055	2,637
計	740	36,910	16,469	638	25,906	11,935

アンケート用紙

氏名 () 学籍番号 ()

科目名 () 学年 (年)

平成 25 年度前期・後期授業改善アンケート

名城大学 FD 委員会

このアンケート調査は、学生の皆さんの視点から授業改善の手がかりを探り、授業の改善につなげることを目的として実施するものです。なお、ご回答いただきました内容は授業改善のみに使用し、成績評価等には一切影響しませんので率直に回答してください。

■ 回答方法：質問 1～12 については、もっとも当てはまる記号を一つ選び、○をつけてください。
質問 13・質問 14 は、教員の指示に従って、質問文を記入してから回答してください。
質問 15・質問 16 は自由記述です。

1. この授業を履修するにあたり、自分には基礎的な知識が十分にある。
5.強く思う 4.やや思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない
2. この授業に対する 1 週間あたりの勉強時間(授業時間除く)は。
5.週 3 時間以上 4.週 1 時間・3 時間未満 3.週 30 分・1 時間未満 2.週 30 分未満 1.していない
3. この授業では板書や資料等の文字は読み取りやすい。
5.強く思う 4.やや思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない
4. この授業では教員の話し方は明瞭で聞き取りやすい。
5.強く思う 4.やや思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない
5. この授業では学生の理解度を確認しながら進められている。
5.強く思う 4.やや思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない
6. この授業では教員は私語に対し、きちんと対応している。
5.強く思う 4.やや思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない
7. この授業に対する教員の意欲や熱意を感じる。
5.強く思う 4.やや思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない
8. この授業は学生に興味がわくように工夫して進められている。
5.強く思う 4.やや思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない
9. この授業では授業の大切なポイントがきちんと示されている。
5.強く思う 4.やや思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない
10. 自分はこの授業が理解できている。
5.強く思う 4.やや思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない
11. この授業によって、学問への興味・関心が引き起こされた。
5.強く思う 4.やや思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない
12. この授業ではシラバスに示されている到達目標を達成できた。
5.強く思う 4.やや思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない
13. 各教員による自由設定項目①

<質問文を記入してください>

- 5.強く思う 4.やや思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない

14. 各教員による自由設定項目②

<質問文を記入してください>

- 5.強く思う 4.やや思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない

裏面へ進んでください

アンケート用紙

15. この授業で良いと思った点について、何でも結構ですからお聞かせください。

16. この授業で改善したほうが良いと思った点について、何でも結構ですからお聞かせください。

以上でアンケートは終わりです。
ご協力ありがとうございました。

自由設定項目記載用紙

氏名 ()

科目名 ()

平成 25 年度前期・後期授業改善アンケート 名城大学 FD 委員会
(各教員による自由設定項目に係る記載用紙)

このアンケート調査は、学生の視点から授業改善の手がかりを探り、授業改善につなげることで教育の質を向上させることを目的として実施いたします。

今年度はアンケート項目を厳選し、学生の意見の集約に力を注ぐため、学生アンケートのみを実施することとなりました。また、教員が任意で2つまでアンケート項目を設定できるようにいたしました。項目を設定される場合は下記に質問文をご記入ください(設定されない場合は、「設定なし」に○を付けてください)。

ご協力いただけますようお願いいたします。

13. 各教員による自由設定項目① ※「強く思う」～「全くそう思わない」の5段階の質問です。

<質問文を記入してください>

(設定なし)

14. 各教員による自由設定項目② ※「強く思う」～「全くそう思わない」の5段階の質問です。

<質問文を記入してください>

(設定なし)

1 授業科目の集計結果

<各教員へのフィードバック様式見本>

【名城大学FD】平成25年度前期・後期授業改善アンケート 集計結果

〇〇学部	科目名: 〇〇〇	時間割: 〇曜日 〇限
履修登録者数: 〇人	回答者数: 〇人	回収率: 〇% 教員名: 〇〇 〇〇
平成23年度後期実施科目名: ×××	平成24年度後期実施科目名: 〇〇〇	

※平成23年度(後期)、平成24年度(後期)の授業が本授業の比較対象にならない場合、表、グラフに反映されません
 ※少人数で算出した数値であることに留意下さい

■学生からの自己申告

【この科目の基礎知識(%)】

この授業を履修するにあたり、自分には基礎的な知識が十分にある

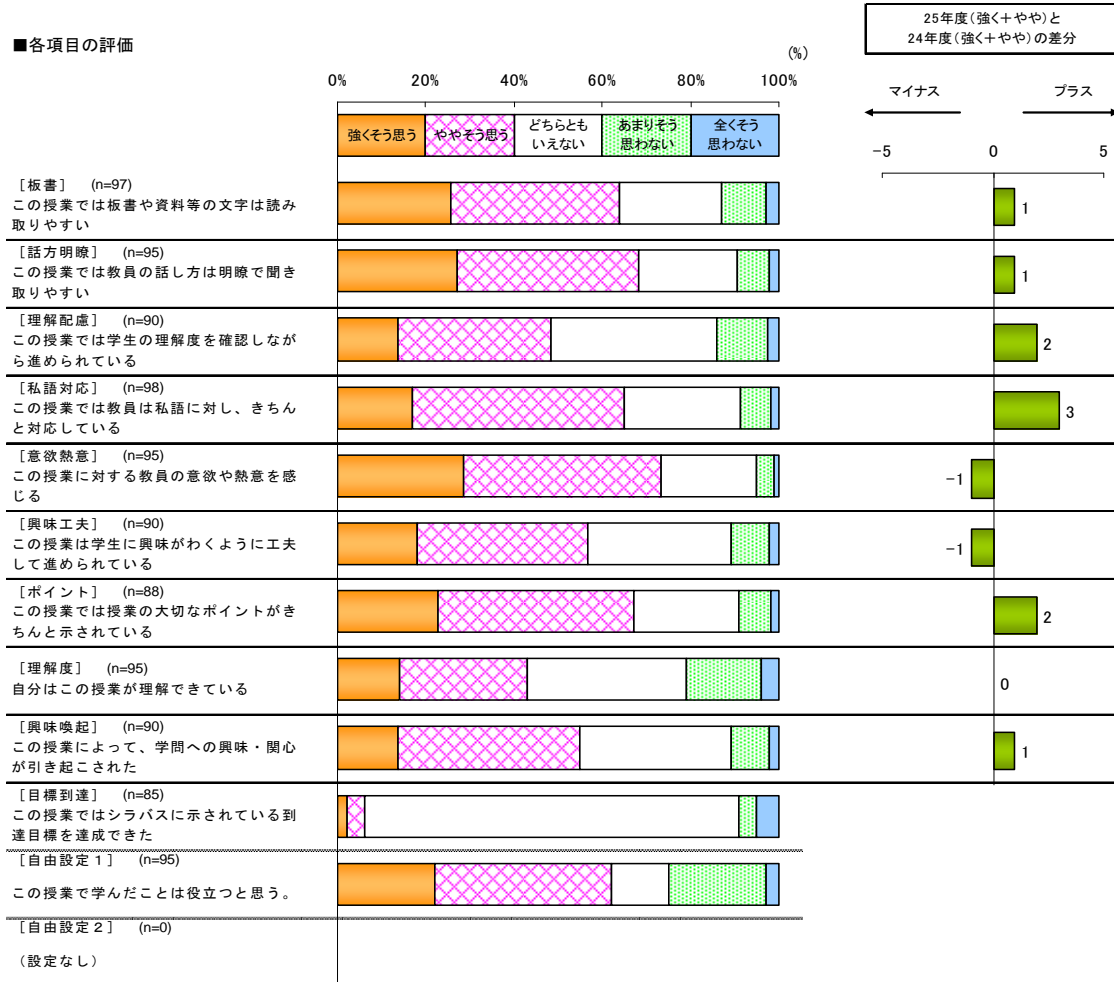
	強く そう思う	やや そう思う	どちら ともい えない	あまり そう思 わない	全く そう思 わない	無回答
平成23年度後期 (N=120)	6	32	44	10	3	5
平成24年度後期 (N=90)	10	37	30	18	5	0
平成25年度後期 (N=100)	15	22	47	8	6	2

【この科目の自学自習時間(%)】

この授業に対する1週間あたりの勉強時間(授業時間除く)は

	週3時間 以上	週1時間 -3時間	週30分 -1時間	週30分 未満	勉強して いない	無回答
平成23年度後期 (N=120)	2	5	25	29	38	1
平成24年度後期 (N=90)	8	15	27	37	13	0
平成25年度後期 (N=100)	5	8	21	27	36	3

■各項目の評価



コメント	
------	--

2 授業改善アンケートの見方

授業改善アンケートの見方

【名城大学FD】平成25年度前期・後期授業改善アンケート
集計結果

〇〇学部	科目名: 〇〇〇	時間割: 〇曜日 〇限
履修登録者数: 〇人	回答者数: 〇人	回収率: 〇%
		教員名: 〇〇 〇〇
平成23年度後期実施科目名: X X X	平成24年度後期実施科目名: 〇〇〇	

※平成23年度(後期)、平成24年度(後期)の授業が本授業の比較対象にならない場合、表、グラフに反映されません
※少人数で算出した数値であることに留意下さい

P.9【2】
参照

■学生からの自己申告

【この科目の基礎知識(%)】
この授業を履修するにあたり、自分には基礎的な知識が十分にある

	強く そう思う	やや そう思う	どちら ともい えない	あまり そう思 わない	全く そう思 わない	無回答
平成23年度後期 (N=120)	6	32	44	10	3	5
平成24年度後期 (N=90)	10	37	30	18	5	0
平成25年度後期 (N=100)	15	22	47	8	6	2

P.9【4】
参照

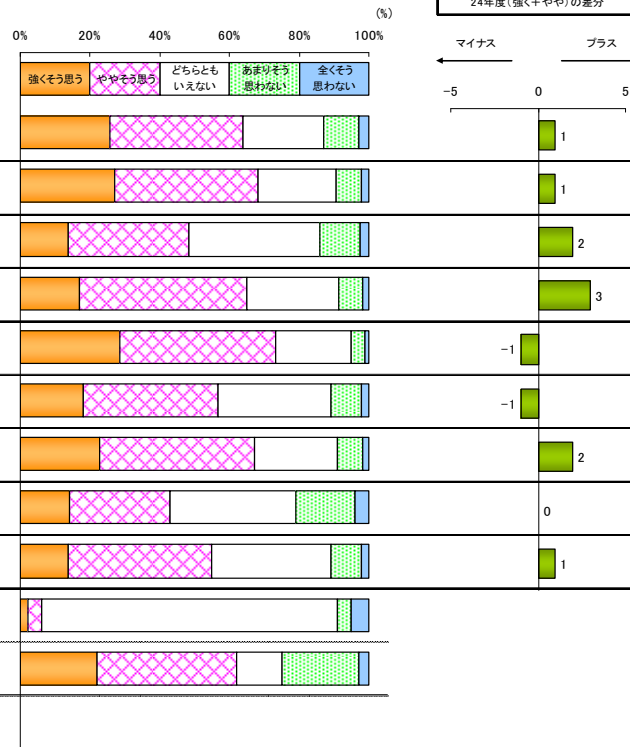
【この科目の自学自習時間(%)】

この授業に対する1週間あたりの勉強時間(授業時間除く)は

	週3時間 以上	週1時間 -3時間	週30分 -1時間	週30分 未満	勉強して いない	無回答
平成23年度後期 (N=120)	2	5	25	29	38	1
平成24年度後期 (N=90)	8	15	27	37	13	0
平成25年度後期 (N=100)	5	8	21	27	36	3

P.9【3】参照

■各項目の評価



25年度(強く+やや)と
24年度(強く+やや)の差分

P.9【6】
参照

P.9【5】
参照

コメント	教員の
------	-----

2 授業改善アンケートの見方

授業改善アンケートの各値の解説（番号は P.8 と対応しています）

【1】回収率

「この授業の履修登録者数」と「この授業の回答者数」をもとに回収率を算出しました。回収率は以下の式で表されます。

$$\text{回収率} = \frac{\text{この授業の回答者数}}{\text{この授業の履修登録者数}}$$

【2】この科目の基礎知識（自己申告）

アンケート設問項目「この授業を履修するにあたり、自分には基礎的な知識が十分にある」の集計結果（回答した割合）です。

無回答を含んだ全回答者で集計しており、「N」は全回答者数を表しています。

（平成 23 年度、平成 24 年度と実施科目が異なる場合も）過去 2 回分の値を掲載しております。

【3】この科目の自学自習時間（自己申告）

アンケート設問項目「この科目の自学自習時間」の集計結果（回答した割合）です。授業時間を除いた学習時間です。

無回答を含んだ全回答者で集計しており、「N」は全回答者数を表しています。

（平成 23 年度、平成 24 年度と実施科目が異なる場合も）過去 2 回分の値を掲載しております。

【4】各項目の評価

各項目の集計結果（回答した割合）です。

各項目、無回答を除いた回答者で集計しており、「n」は有効回答者数を表しています。

「強く思う」～「全くそう思わない」の 5 段階評価をグラフで示しました。

【5】自由設定項目の評価

各教員が自由設定した質問項目の集計結果（回答した割合）です。

各項目、無回答を除いた回答者で集計しており、「n」は有効回答者数を表しています。

項目設定していない場合は「設定なし」で表示されます。

【6】平成 24 年度科目との比較

各項目、平成 24 年度と比較した結果です（但し、平成 24 年度と実施科目が異なる場合は比較しておりません）。

『平成 25 年度の「強く思う」「やや思う」の合計値』から『平成 24 年度の「強く思う」「やや思う」の合計値』を引いた結果を表示しています。

値が大きいほど、平成 24 年度より改善した結果になっているといえます。

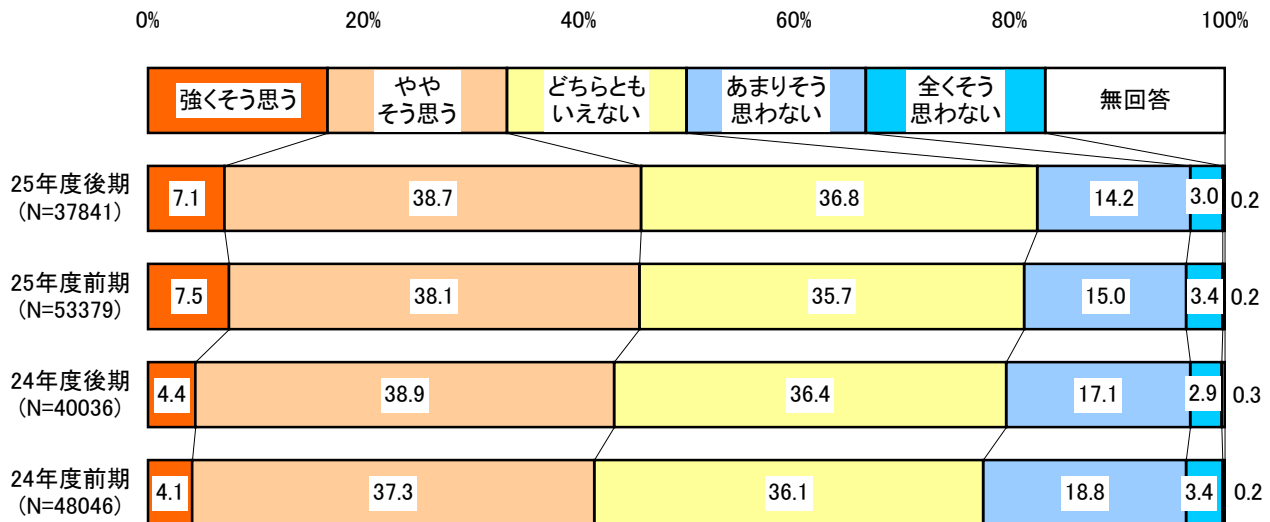
3 理解度の変化（1）

[学生]

学生の理解度を時系列でみると、全体では「強くそう思う」+「ややそう思う」の割合は5割弱で、25年度前期から横ばい。学部・学科別では経済学部で上昇したが、農学部、教職課程・学芸員課程では低下傾向。また、法学部の応用実務法学科では10ポイント以上上昇した。

Q10. 自分はこの授業が理解できている。

<理解度> 【全学部】



<学部・学科別理解度の時系列比較>

学部別	回答者数	25年度後期	25年度前期	24年度後期	24年度前期
全体	37841	45.8	45.6	43.3	41.4
法学部	3303	47.9	45.9	46.5	42.7
経営学部	2938	52.3	47.9	49.9	45.0
経済学部	2461	45.7	40.1	42.7	35.5
理工学部	13485	41.9	42.7	38.0	36.2
農学部	3729	<u>40.4</u>	45.8	38.4	40.2
薬学部	3790	33.1	36.1	31.0	34.3
都市情報学部	2297	54.5	51.5	51.2	45.4
人間学部	1323	66.1	62.6	59.1	59.6
教職課程・学芸員課程	823	<u>59.9</u>	65.5	64.0	58.3
全学共通教育部門	3692	55.7	54.5	53.5	47.9

学科別	回答者数	25年度後期	25年度前期	24年度後期	24年度前期
全体	37841	45.8	45.6	43.3	41.4
法学科	3213	47.4	45.5	46.5	41.9
応用実務法学科	90	66.7	53.7	47.8	52.7
経営学科	2103	52.6	48.8	51.1	43.6
国際経営学科	835	51.6	44.4	<u>46.5</u>	53.9
経済学科	1939	43.7	38.8	43.2	32.1
産業社会学科	522	53.1	44.7	<u>41.2</u>	49.7
数学科	1387	42.9	46.6	38.1	33.1
情報工学科	1543	<u>41.0</u>	47.7	39.2	34.1
電気電子工学科	1950	41.5	45.2	43.5	45.3
材料機能工学科	1450	35.6	30.9	29.0	23.2
応用化学科 (1年次のみ)	254	<u>26.0</u>	53.7	-	-
機械工学科/ 機械システム工学科	1407	43.1	39.2	35.0	28.4
交通機械工学科	1232	41.2	42.6	34.3	39.0
メカトロニクス工学科 (1年次のみ)	452	40.0	37.5	-	-
社会基盤デザイン工学科 /建設システム工学科	1521	46.0	46.6	43.8	37.7
環境創造学科	839	41.6	38.1	<u>38.7</u>	46.3
建築学科	1450	47.4	46.0	42.4	37.7
生物資源学科	1100	<u>34.7</u>	43.1	39.6	39.1
応用生物化学科	1384	<u>41.3</u>	46.4	38.7	37.0
生物環境科学科	1245	44.5	49.2	<u>37.1</u>	46.1
薬学科	3790	33.1	36.1	31.0	34.3
都市情報学科	2297	54.5	51.5	51.2	45.4
人間学科	1323	66.1	62.6	59.1	59.6

※「強く」+「ややそう思う」のスコア(%)

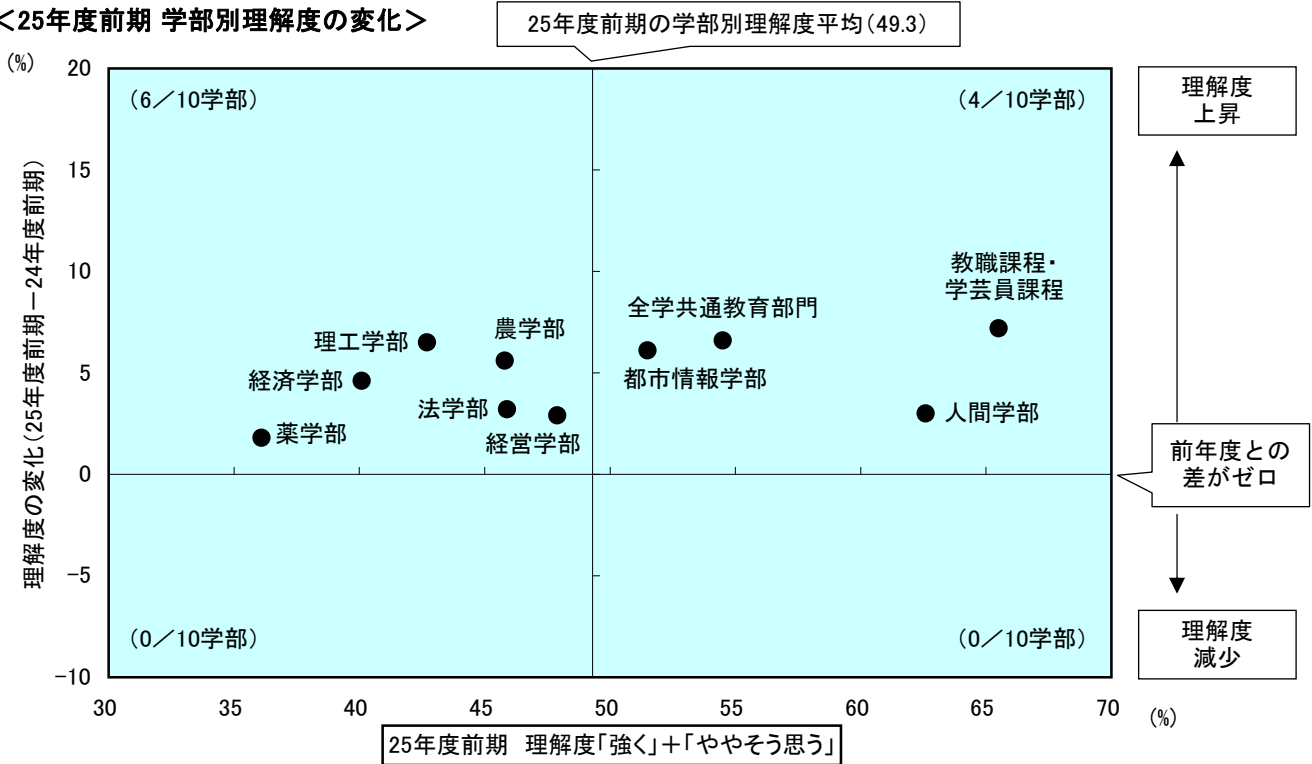
※前回より5ポイント以上上昇したものは網掛け、5ポイント以上低下したものは斜体+下線

3 理解度の変化（2）25年度前期

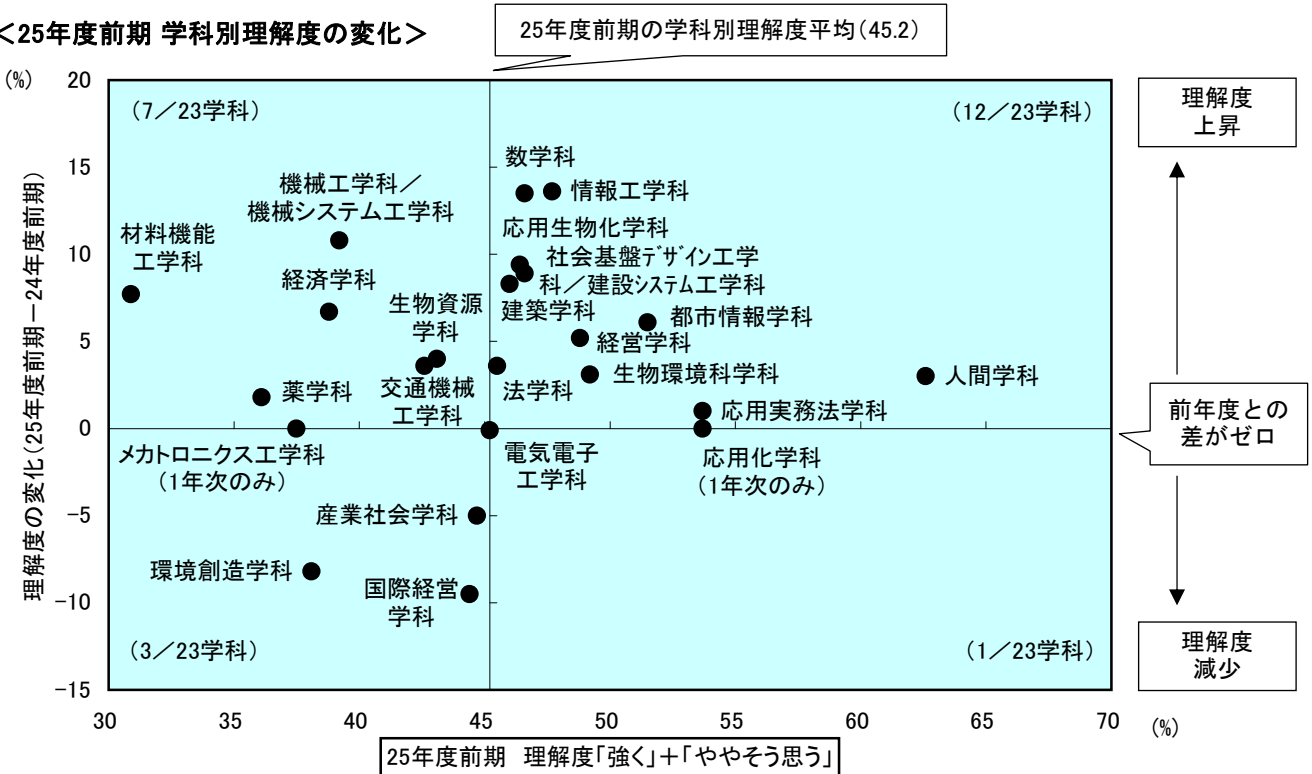
[学生]

学部別、学科別に理解度の変化の度合いを24年度前期と比較したところ、25年度前期の全学平均よりも低かった学部のうち、理解度が上昇したのは理工学部、農学部、経済学部など6学部。学科別では、機械工学科／機械システム工学科など7学科の理解度が上昇した。

＜25年度前期 学部別理解度の変化＞



＜25年度前期 学科別理解度の変化＞



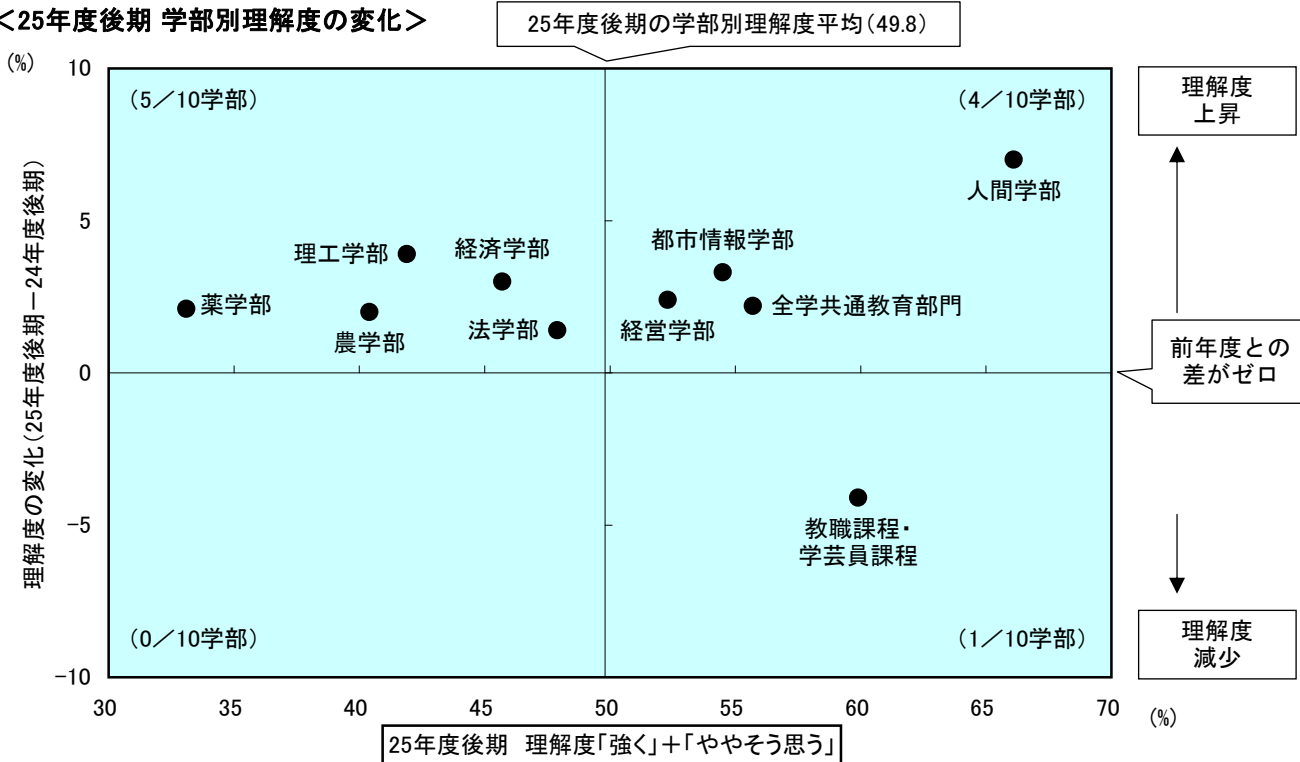
※「応用化学科(1年次のみ)」「メカトロニクス工学科(1年次のみ)」は今年度からの項目

3 理解度の変化（2）25年度後期

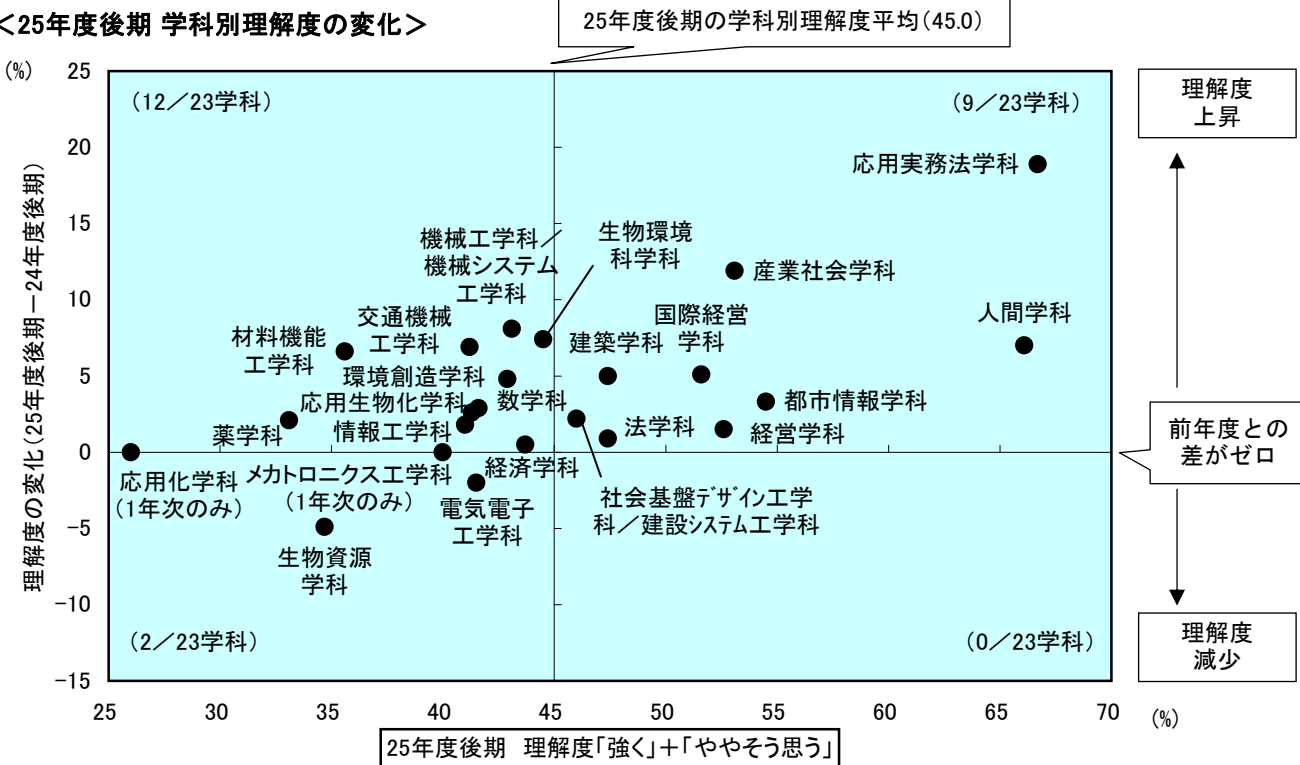
[学生]

学部別、学科別に理解度の変化の度合いを24年度後期と比較したところ、25年度後期の全学平均よりも低かった学部のうち、理工学部、経済学部など5学部の理解度が上昇した。学科別では、機械工学科／機械システム工学科など12学科の理解度が上昇した。

<25年度後期 学部別理解度の変化>



<25年度後期 学科別理解度の変化>



※「応用化学科(1年次のみ)」「メカトロニクス工学科(1年次のみ)」は今年度からの項目

4 調査結果のまとめ 25年度前期

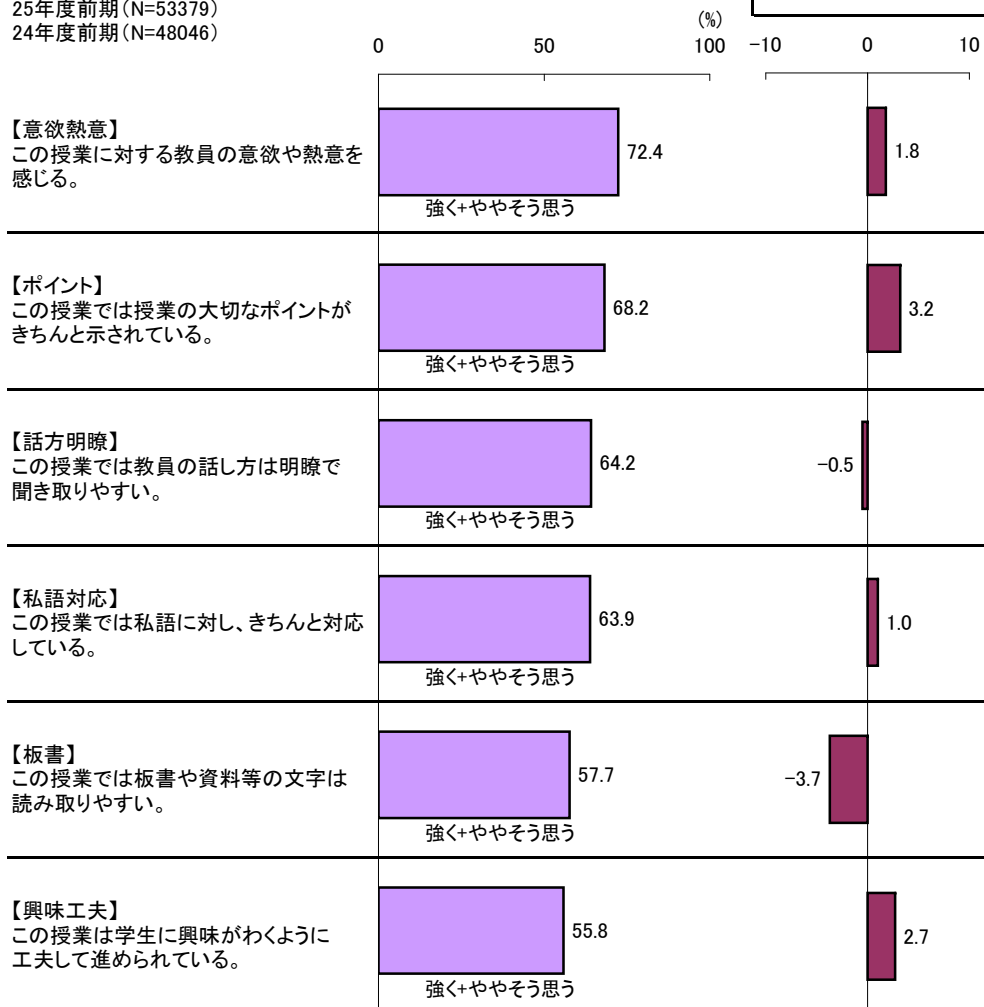
[学生]

25年度前期の授業に対する学生の評価は、「意欲熱意」「ポイント」で高い。24年度前期と比較すると、「理解配慮」が約7ポイント、「理解度」が約4ポイントの上昇。一方、「板書」は約4ポイント低下した。また、「自学自習時間」が「週3時間以上」+「週1-3時間未満」の割合は1割程度にとどまり、「基礎知識」も2割強と、学生自身の自己評価が低くなっている。

【25年度前期】

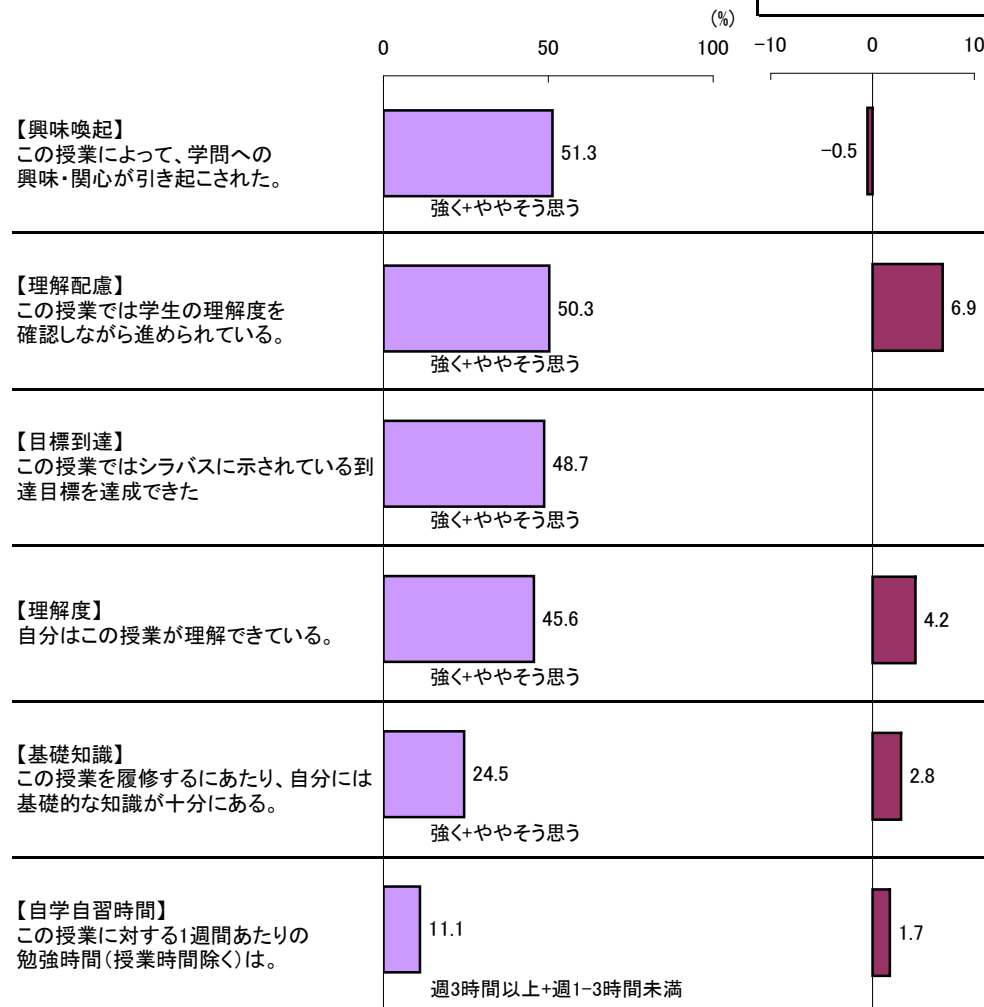
25年度前期 (N=53379)
24年度前期 (N=48046)

25年度前期と
24年度前期の差分



※横棒グラフは各設問上位2選択肢の合計割合 (%)

25年度前期と
24年度前期の差分



4 調査結果のまとめ 25年度後期

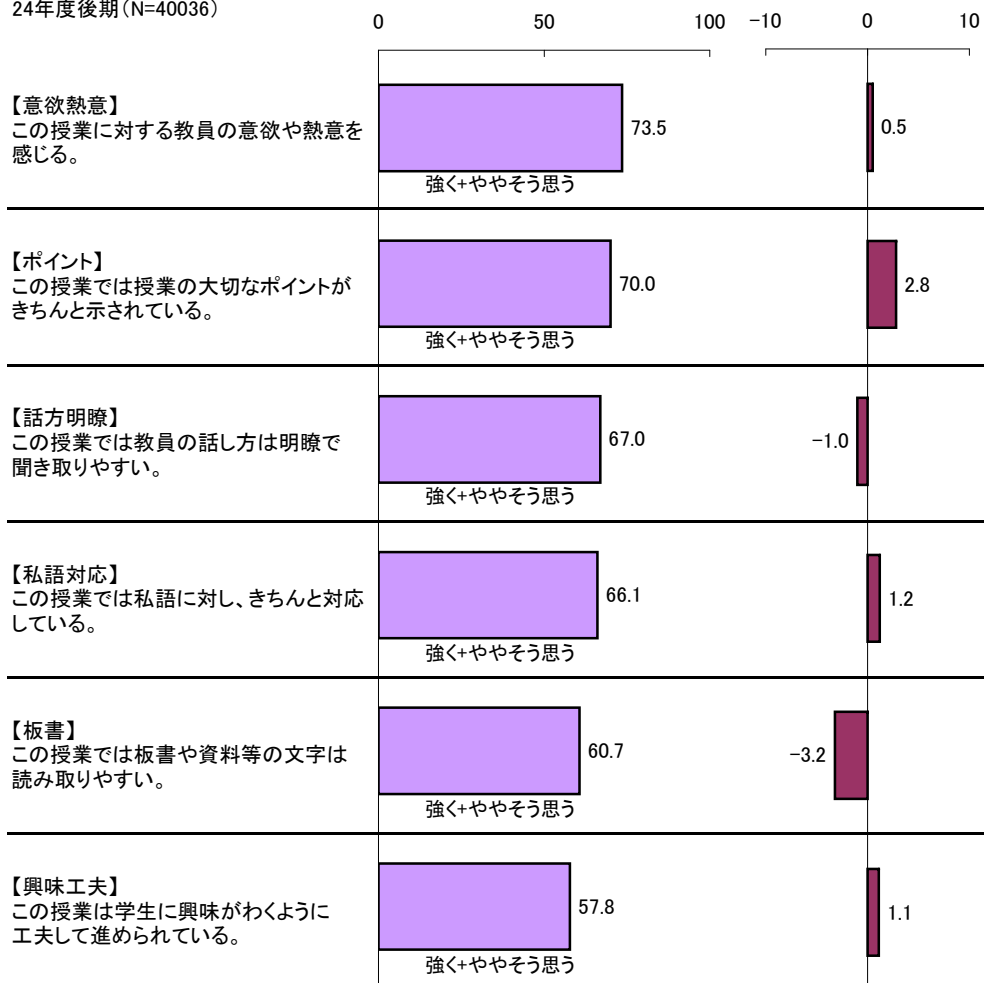
[学生]

25年度後期の授業に対する学生の評価は、「意欲熱意」「ポイント」で高い。24年度後期と比較すると、「理解配慮」が約5ポイントの上昇。「自学自習時間」が「週3時間以上」+「週1-3時間未満」の割合は1割程度にとどまり、「基礎知識」も2割強と、学生自身の自己評価が低くなっている。

【25年度後期】

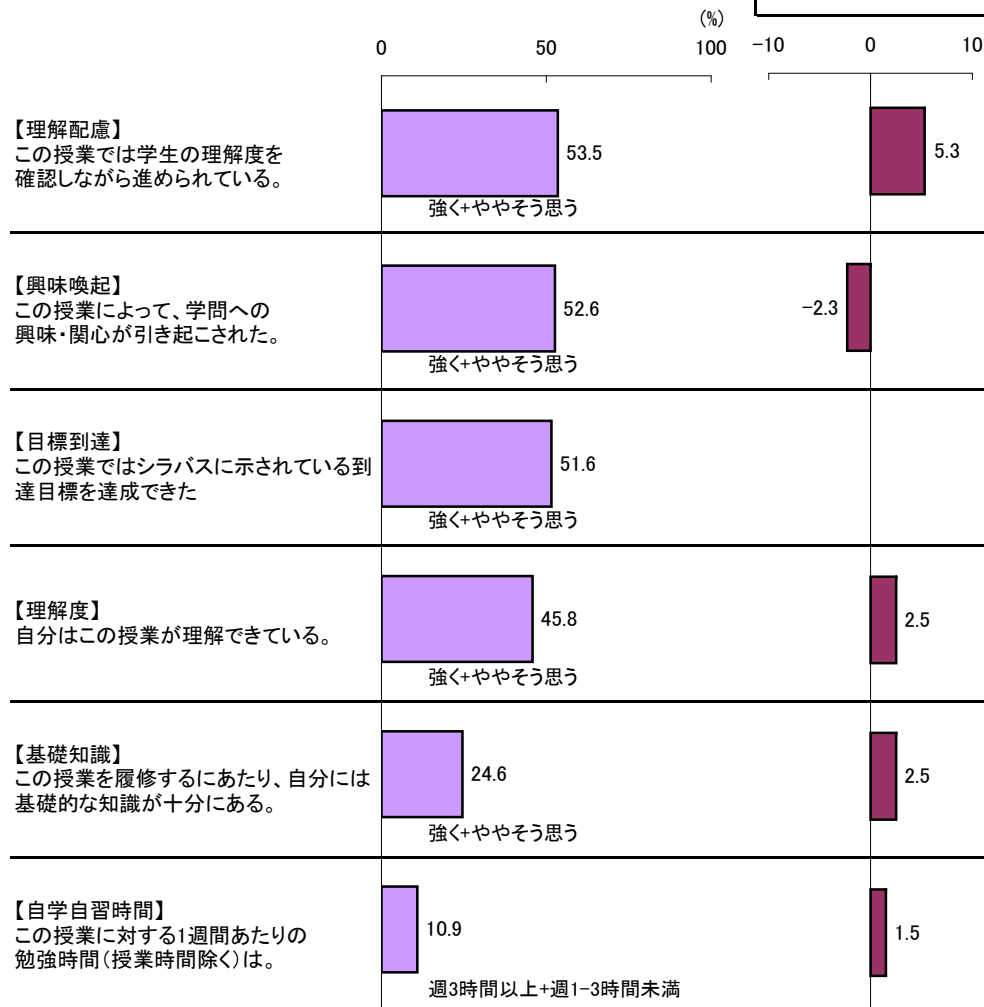
25年度後期 (N=37841)
24年度後期 (N=40036)

25年度後期と
24年度後期の差分



※横棒グラフは各設問上位2選択肢の合計割合 (%)

25年度後期と
24年度後期の差分

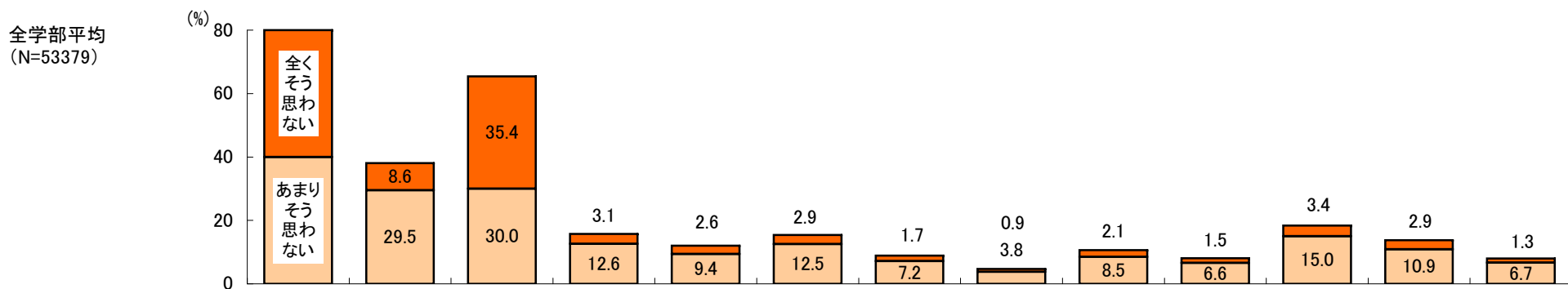


5 学部別改善ポイント 25年度前期

[学生]

25年度前期の学生調査の結果のうち「あまりそう思わない」「全くそう思わない」のスコアを表すことで改善すべきポイントを明確にした。全学部平均では、「自学自習時間」「基礎知識」が上位にあげられる。特に自学自習をしていない学生が7割弱と突出し、理工学部、薬学部、法学部を除き7割台にのぼる。

【25年度前期】



開講学部別	学部	n	「あまりそう思わない」+「全くそう思わない」のスコア											
			基礎知識	自学自習時間 ^{※1}	板書	話方明瞭	理解配慮	私語対応	意欲熱意	興味工夫	ポイント	理解度	興味喚起	目標到達
	法学部	(n=5784)	37.1	64.5	19.5	12.7	14.3	7.6	4.4	9.6	7.8	16.0	12.9	7.5
	経営学部	(n=3742)	36.5	75.4	16.0	12.1	16.0	7.1	4.7	11.7	8.6	15.4	13.3	6.9
	経済学部	(n=3924)	44.0	75.5	19.8	19.1	21.8	10.6	6.2	15.0	11.3	22.3	17.7	9.9
	理工学部	(n=16089)	36.7	56.0	17.5	14.1	17.7	10.9	6.7	14.2	9.4	21.8	17.7	9.7
	農学部	(n=4328)	37.8	71.4	15.5	13.4	14.8	10.1	4.0	9.1	7.4	18.0	12.1	5.2
	薬学部	(n=7700)	40.7	59.5	14.8	9.9	14.4	8.2	3.8	7.8	7.6	22.3	11.4	10.8
	都市情報学部	(n=3103)	37.6	70.6	10.4	8.3	12.5	5.8	2.8	7.8	6.0	15.7	11.6	6.1
	人間学部	(n=2621)	32.0	76.0	9.1	6.7	11.1	5.0	2.1	6.2	6.3	8.4	7.0	4.0
	教職課程・学芸員課程	(n=1372)	35.3	72.9	7.7	5.9	7.1	6.0	1.7	5.3	6.1	7.5	6.9	3.2
	全学共通教育部門	(n=4716)	41.1	74.5	12.7	7.7	12.3	9.8	2.9	6.7	6.0	14.1	11.0	5.2

網かけは、より改善が必要な項目(全体より5ポイント以上)

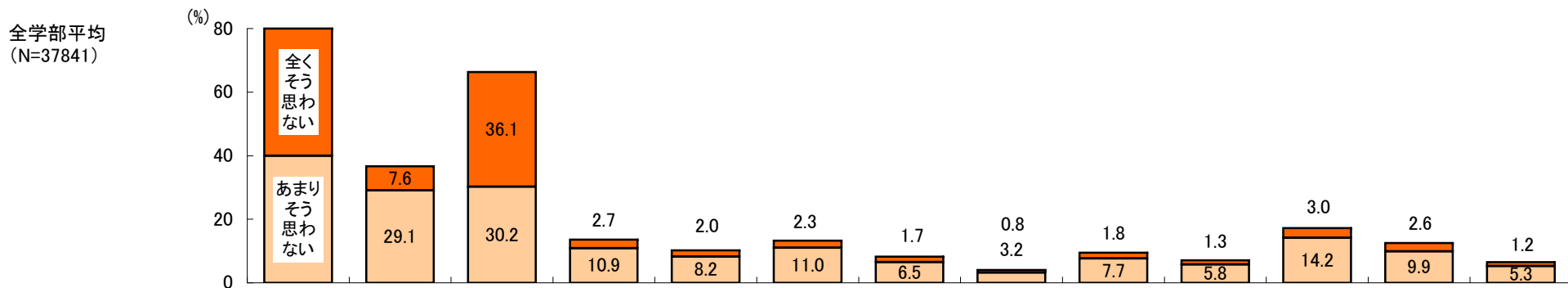
※1 「自学自習時間」のスコアは「週30分未満」+「していない」

5 学部別改善ポイント 25年度後期

[学生]

25年度後期の学生調査の結果のうち「あまりそう思わない」「全くそう思わない」のスコアを表すことで改善すべきポイントを明確にした。全学部平均では、「自学自習時間」「基礎知識」が上位にあげられる。特に自学自習をしていない学生が7割弱と突出し、人間学部、経営学部では8割前後にのぼる。

【25年度後期】



「あまりそう思わない」+
「全くそう思わない」のスコア

開講学部別	学部	人数 (n)	基礎知識	自学自習時間 ^{※1}	板書	話方明瞭	理解配慮	私語対応	意欲熱意	興味工夫	ポイント	理解度	興味喚起	目標到達
			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
	法学部	(n=3303)	36.2	64.3	12.7	9.8	10.6	5.0	3.0	7.7	5.8	14.6	11.0	5.8
	経営学部	(n=2938)	35.4	77.8	11.4	9.5	13.8	6.9	4.3	10.3	8.3	14.6	13.4	6.7
	経済学部	(n=2461)	40.5	74.8	13.5	10.5	15.9	7.4	3.1	11.2	6.9	18.5	13.8	6.3
	理工学部	(n=13485)	35.8	56.7	15.4	11.9	15.0	9.8	5.6	11.9	7.9	20.0	14.9	8.0
	農学部	(n=3729)	37.3	73.1	17.2	13.0	15.0	9.5	3.4	8.5	8.8	20.2	12.7	6.2
	薬学部	(n=3790)	41.3	64.5	14.6	10.1	11.1	6.3	3.6	8.1	6.8	20.9	10.8	7.6
	都市情報学部	(n=2297)	32.0	71.0	9.3	5.5	9.6	7.0	2.3	6.6	3.4	11.1	8.2	3.5
	人間学部	(n=1323)	34.4	80.3	6.0	3.3	7.5	2.3	1.1	4.4	3.6	6.7	6.3	3.6
	教職課程・学芸員課程	(n=823)	35.1	72.1	12.5	8.0	10.1	8.1	2.7	6.2	7.2	9.2	8.1	3.0
	全学共通教育部門	(n=3692)	37.5	74.4	10.6	8.1	12.9	9.6	3.3	7.0	6.3	13.3	10.2	4.8

網かけは、より改善が必要な項目(全体より5ポイント以上)

※1 「自学自習時間」のスコアは「週30分未満」+「していない」

学生への設問の中で教員自身が改善できると考えられる9項目について、理解度との関連度合いと不満度から改善優先度を算出した。結果、「この授業によって、学問への興味・関心が引き起こされた」「この授業ではシラバスに示されている到達目標を達成できた」に関して改善優先度が高いことがわかった。

理解度との関連度合い

「理解度との関連度合い」とは、**学生の理解度への影響の強さ**を数値で表したものです。学生アンケート設問項目「自分はこの授業が理解できている」と各質問項目の連関係数です。もう少し正確に表現しますと、各評価項目に対する評価と「理解度」の評価との関係の強さを数値で表したものとすることになります。値は大きいほど関係が強く、最大で1.0、最小で0.0の値をとりますが、1.0に近い値をとることはほとんどなく、経験的には0.4程度の値でかなりの関係があると言えます。

なお、サンプル数が少ない授業もあるため、授業ごとに計算したものでなく、全サンプルで算出しています。

不満度

「不満度」とは、各設問項目において、**学生の不満感の大きさ**を数値で表したもので、値が大きいほど不満が強く、最大で「1」、最小で「0」の値をとります。回答者全員が「強くそう思う」と回答した場合は「0」、「全くそう思わない」と回答した場合は「1」となります。

改善優先度

改善優先度とは、各設問の評価「理解度との関連度合い」と「不満度」を利用して、それぞれの項目に対する改善が求められる度合いを数値化したものです。以下の式で表されます。

改善優先度は、値が高いほど改善が求められています。

$$\text{改善優先度} = \frac{\text{「理解度との関連度合い」} \times \text{「不満度」}}{\text{「理解度との関連度合い」の最大値}} \times 100$$

「改善優先度」は、全サンプルで算出した「理解度との関連度合い」の最大値で除してあり、最大値が100、最小値が0になるように規格化しています。

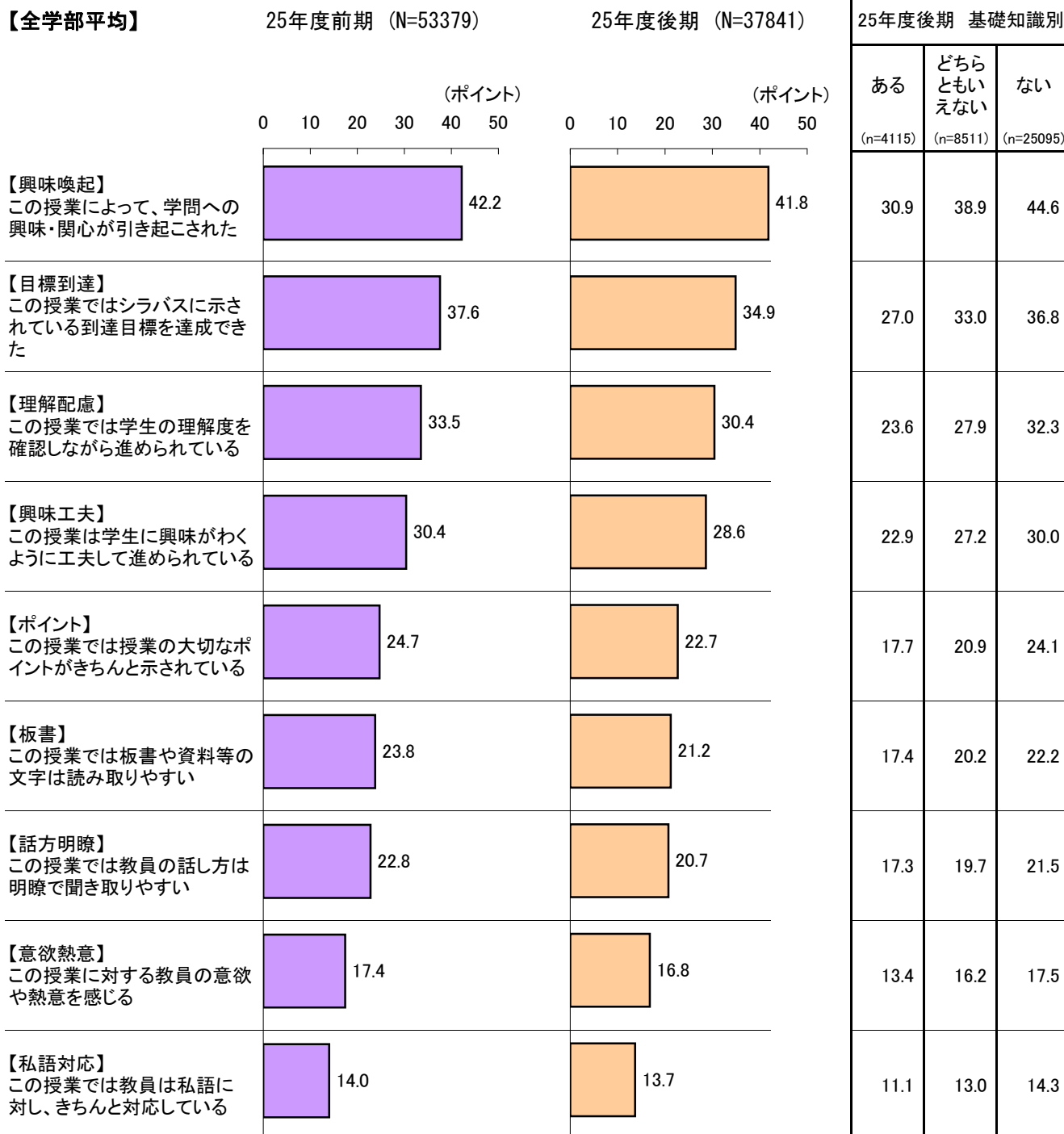
	25年度前期			25年度後期		
	理解度との 関連度合い	不満度	改善 優先度	理解度との 関連度合い	不満度	改善 優先度
3.この授業では板書や資料等の文字は読み取りやすい	0.27	0.39	23.8	0.25	0.38	21.2
4.この授業では教員の話し方は明瞭で聞き取りやすい	0.28	0.35	22.8	0.27	0.34	20.7
5.この授業では学生の理解度を確認しながら進められている	0.35	0.42	33.5	0.33	0.41	30.4
6.この授業では教員は私語に対し、きちんと対応している	0.18	0.34	14.0	0.18	0.33	13.7
7.この授業に対する教員の意欲や熱意を感じる	0.26	0.30	17.4	0.25	0.30	16.8
8.この授業は学生に興味をわくように工夫して進められている	0.34	0.39	30.4	0.33	0.38	28.6
9.この授業では授業の大切なポイントがきちんと示されている	0.32	0.33	24.7	0.31	0.32	22.7
11. この授業によって、学問への興味・関心が引き起こされた	0.44	0.42	42.2	0.45	0.42	41.8
12. この授業ではシラバスに示されている到達目標を達成できた	0.40	0.42	37.6	0.39	0.40	34.9
理解度との関連度合いの最大値	0.44			0.45		

6 理解度から見た改善優先項目（全学部）

[学生]

全学部では、学生による改善優先度は「興味喚起」「目標到達」「理解配慮」で高く、学生の自己評価の基礎知識が「ない」学生ほどその意向が強い。一方、「私語対応」「意欲熱意」への改善優先度は低い。25年度後期は25年度前期と比較すると、改善優先度は全般的に低い。

<改善優先度>



(ポイント)

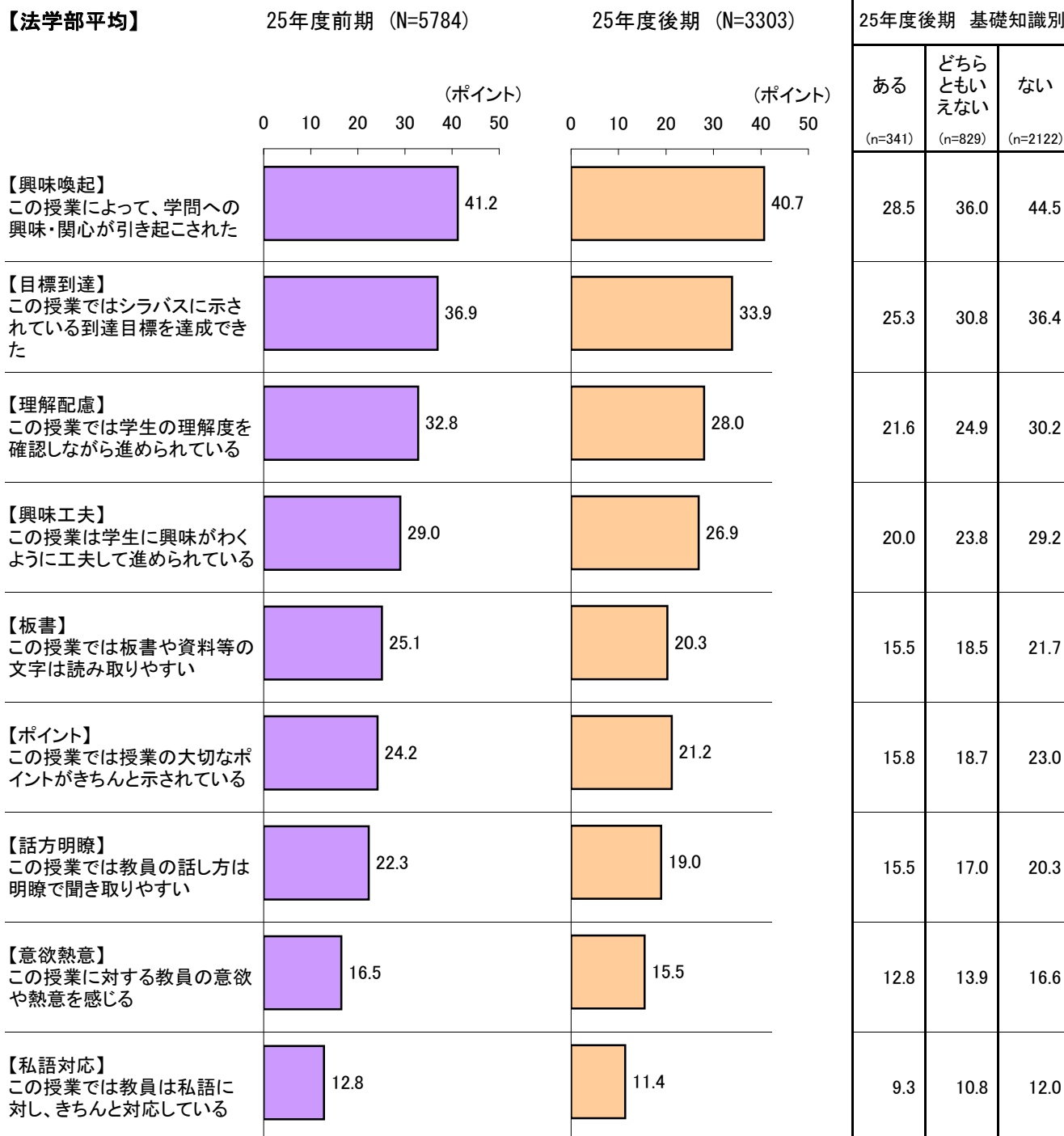
* 25年度後期全体より5ポイント以上高いものに網掛け

6 理解度から見た改善優先項目（法学部）

[学生]

法学部では、学生による改善優先度は「興味喚起」「目標到達」「理解配慮」で高く、学生の自己評価の基礎知識が「ない」学生ほどその意向が強い。一方、「私語対応」「意欲熱意」への改善優先度は低い。25年度後期は25年度前期と比較すると、「理解配慮」「板書」で改善優先度が低い。

<改善優先度>



(ポイント)

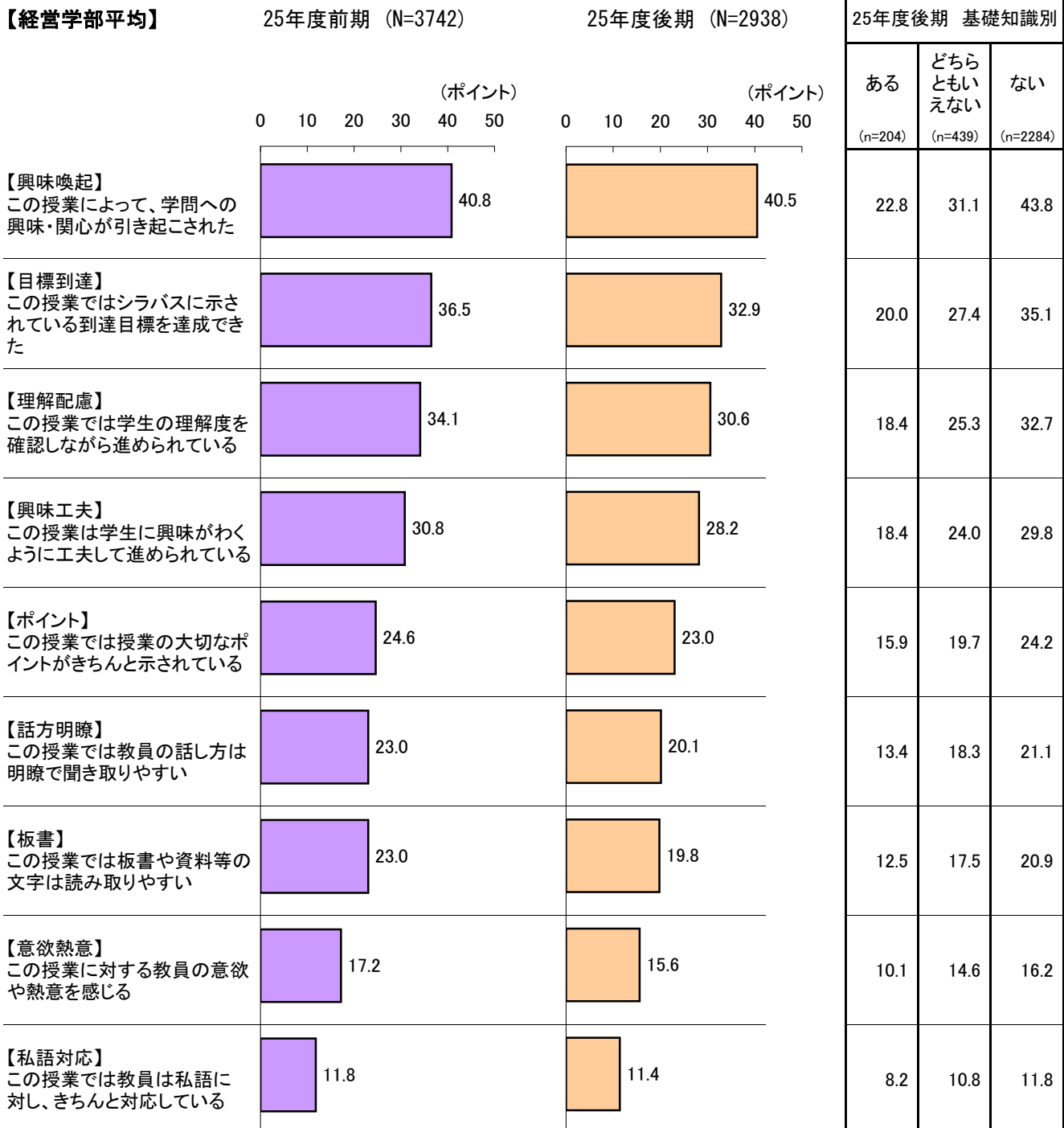
* 25年度後期全体より5ポイント以上高いものに網掛け

6 理解度から見た改善優先項目（経営学部）

[学生]

経営学部では、学生による改善優先度は「興味喚起」「目標到達」「理解配慮」で高く、学生の自己評価の基礎知識が「ない」学生ほどその意向が強い。一方、「私語対応」「意欲熱意」への改善優先度は低い。25年度後期は25年度前期と比較すると、「目標到達」「理解配慮」で改善優先度がやや低い。

<改善優先度>



(ポイント)

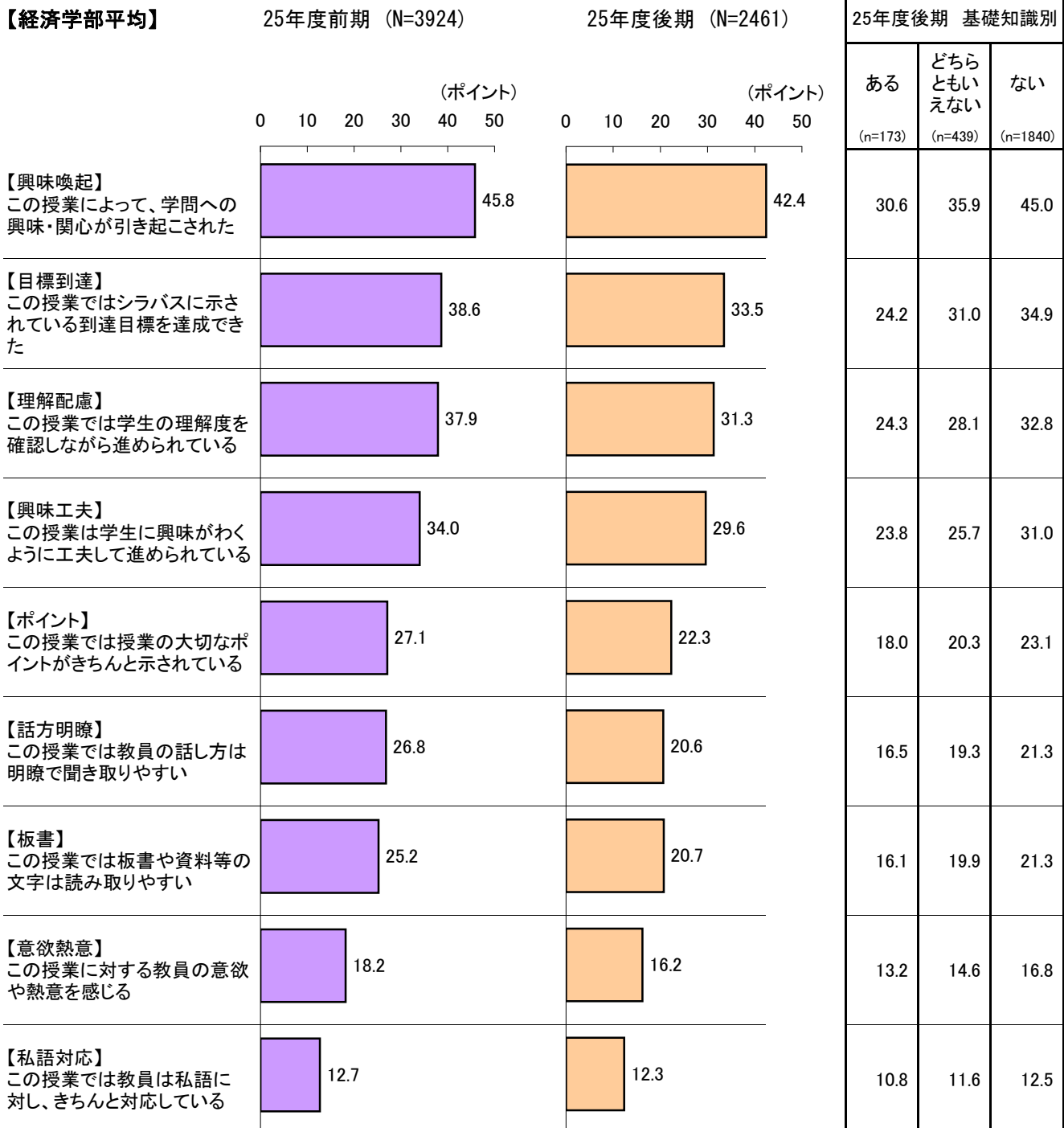
* 25年度後期全体より5ポイント以上高いものに網掛け

6 理解度から見た改善優先項目（経済学部）

[学生]

経済学部では、学生による改善優先度は「興味喚起」「目標到達」「理解配慮」で高く、学生の自己評価の基礎知識が「ない」学生ほどその意向が強い。一方、「私語対応」「意欲熱意」への改善優先度は低い。25年度後期は25年度前期と比較すると、「理解配慮」「話方明瞭」「目標到達」で改善優先度が低い。

<改善優先度>



(ポイント)

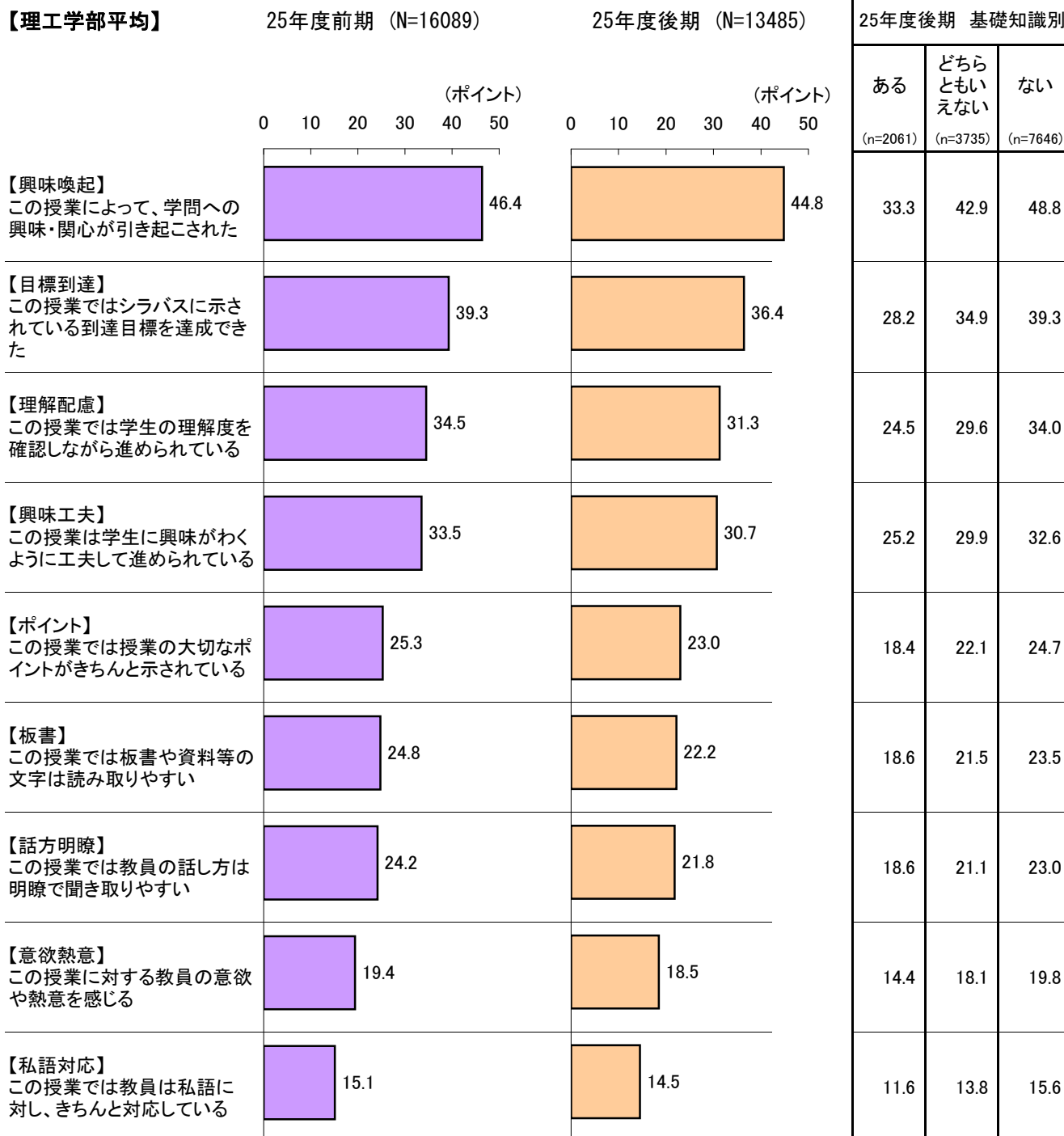
* 25年度後期全体より5ポイント以上高いものに網掛け

6 理解度から見た改善優先項目（理工学部）

[学生]

理工学部では、学生による改善優先度は「興味喚起」「目標到達」「理解配慮」で高く、学生の自己評価の基礎知識が「ない」学生ほどその意向が強い。一方、「私語対応」「意欲熱意」への改善優先度は低い。25年度後期は25年度前期と比較すると、「理解配慮」で改善優先度がやや低い。

<改善優先度>



(ポイント)

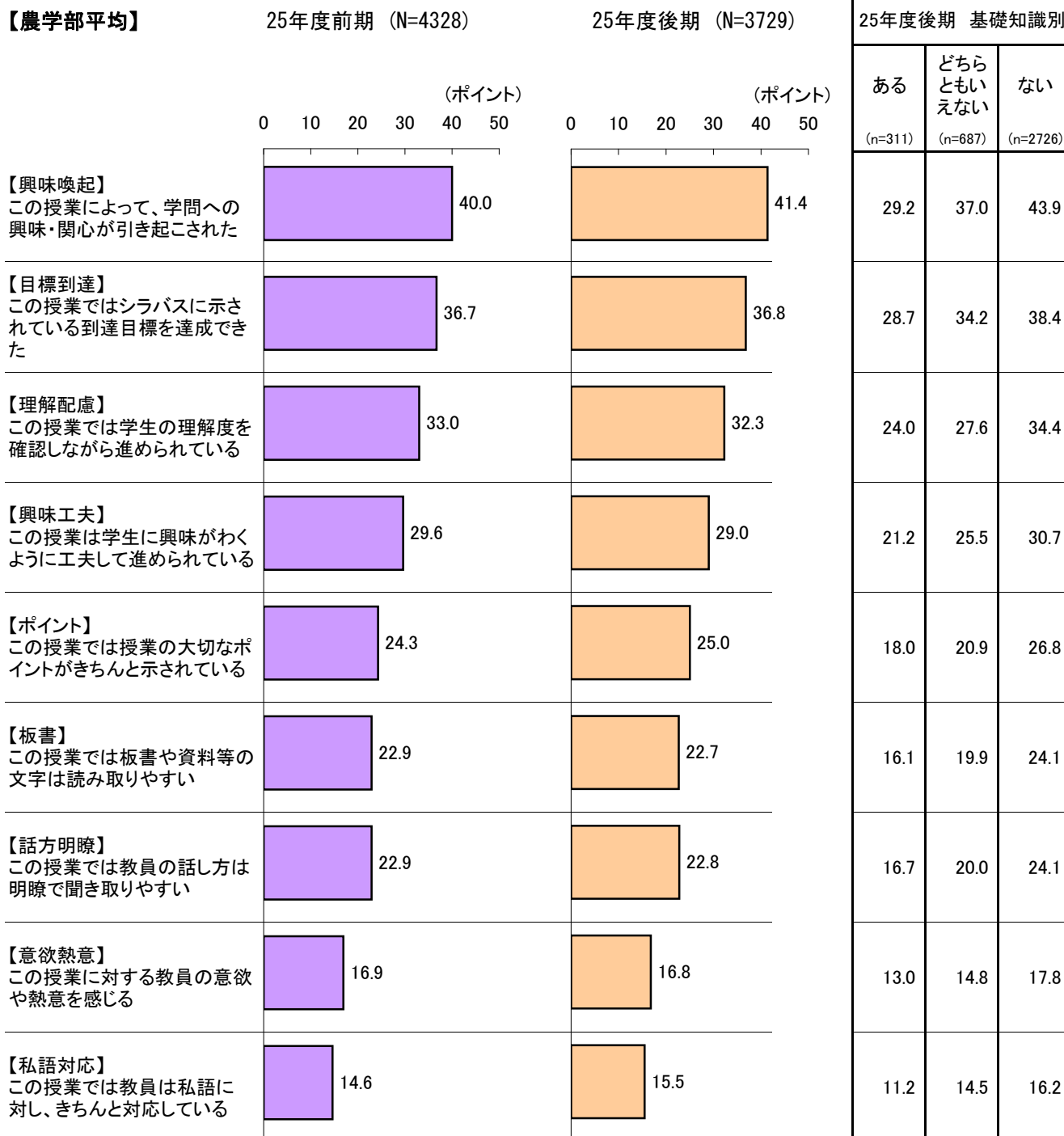
* 25年度後期全体より5ポイント以上高いものに網掛け

6 理解度から見た改善優先項目（農学部）

[学生]

農学部では、学生による改善優先度は「興味喚起」「目標到達」「理解配慮」が高く、学生の自己評価の基礎知識が「ない」学生ほどその意向が強い。一方、「私語対応」「意欲熱意」への改善優先度は低い。25年度後期は25年度前期と比較すると、いずれの項目も差がみられない。

<改善優先度>



(ポイント)

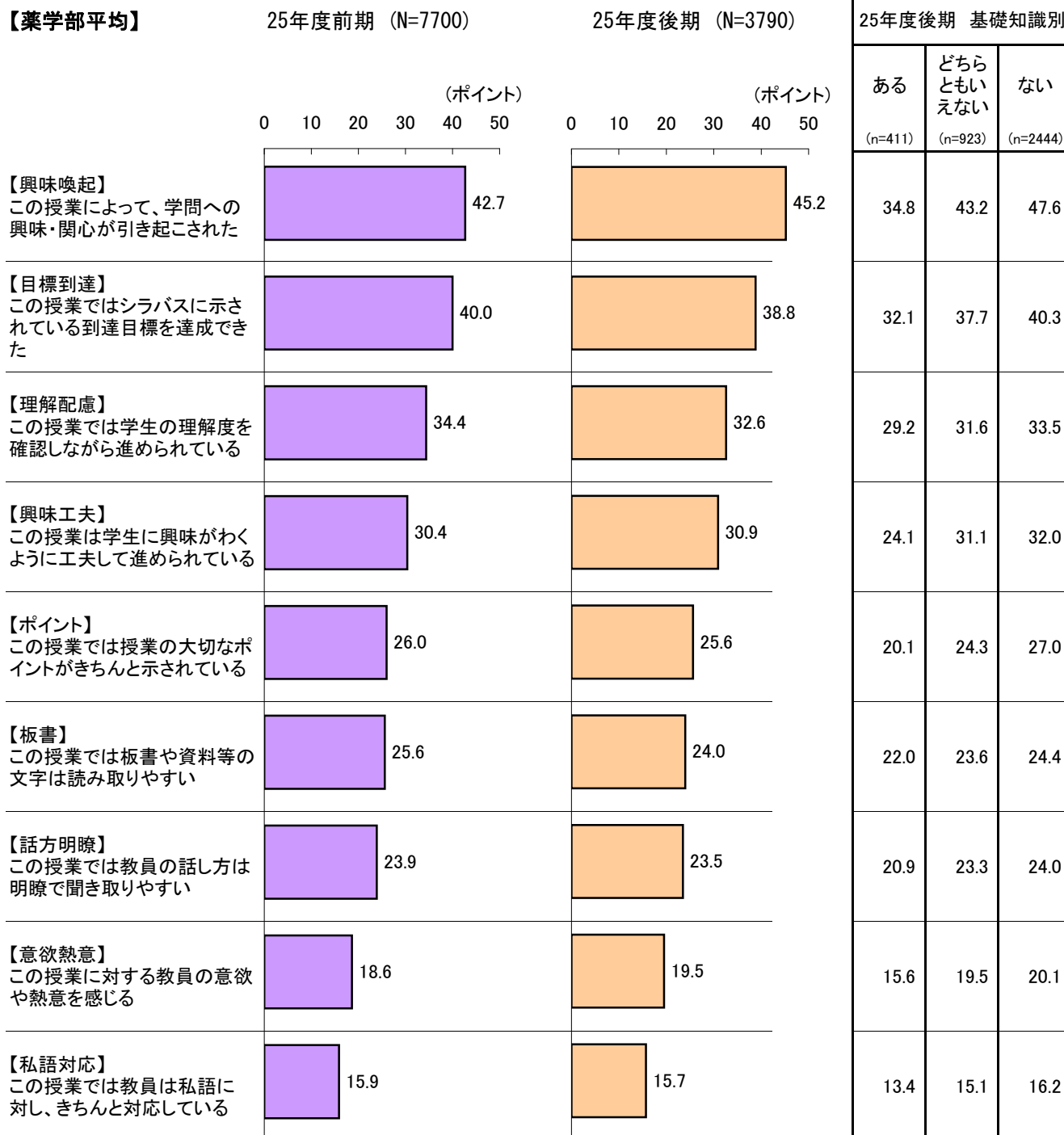
* 25年度後期全体より5ポイント以上高いものに網掛け

6 理解度から見た改善優先項目（薬学部）

[学生]

薬学部では、学生による改善優先度は「興味喚起」「目標到達」「理解配慮」で高く、学生の自己評価の基礎知識が「ない」学生ほどその意向が強い。一方、「私語対応」「意欲熱意」への改善優先度は低い。25年度後期は25年度前期と比較すると、「興味喚起」で改善優先度がやや高い。

<改善優先度>



(ポイント)

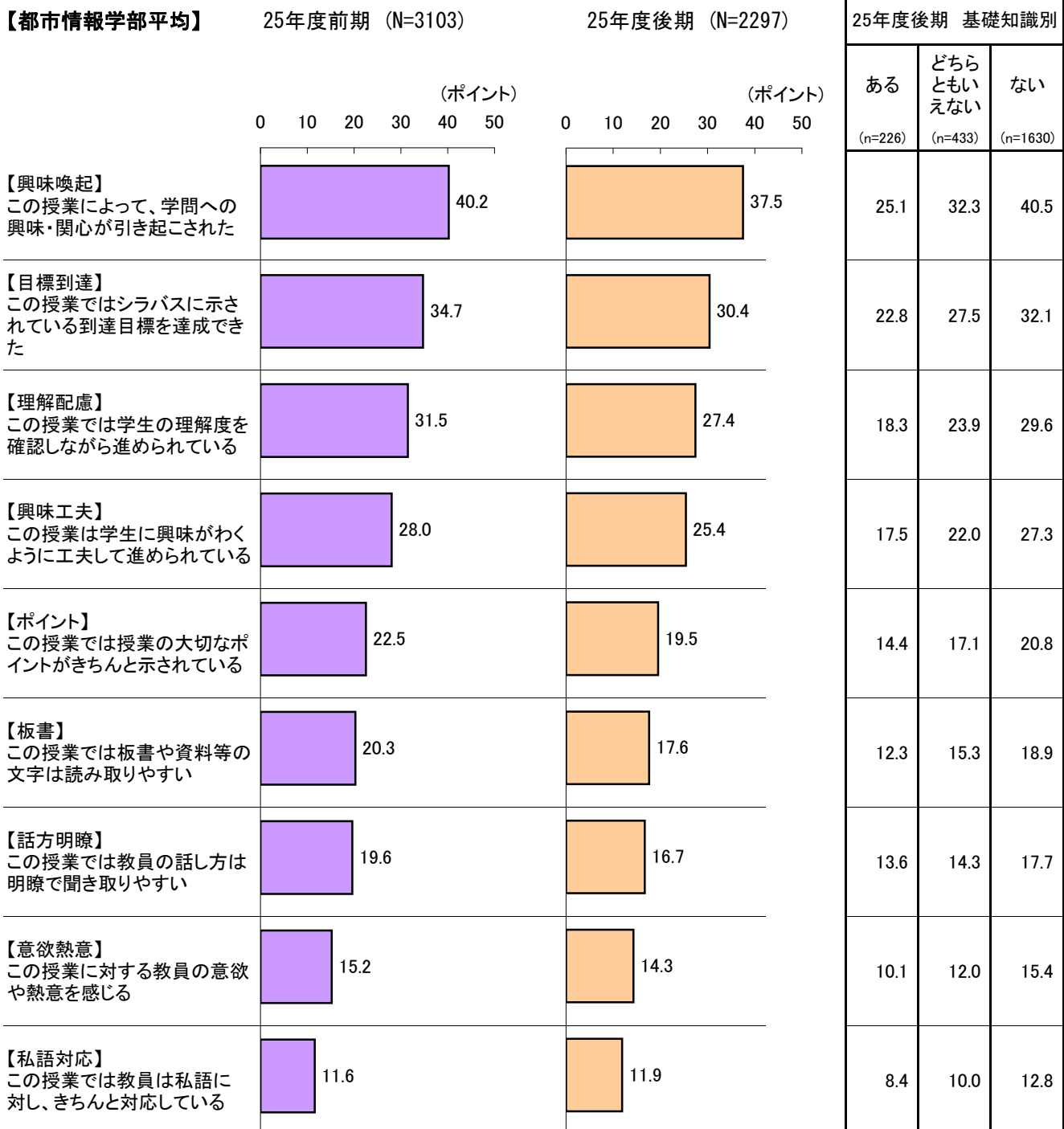
* 25年度後期全体より5ポイント以上高いものに網掛け

6 理解度から見た改善優先項目（都市情報学部）

[学生]

都市情報学部では、学生による改善優先度は「興味喚起」「目標到達」「理解配慮」で高く、学生の自己評価の基礎知識が「ない」学生ほどその意向が強い。一方、「私語対応」「意欲熱意」への改善優先度は低い。25年度後期は25年度前期と比較すると、「目標到達」「理解配慮」で改善優先度が低い。

<改善優先度>



(ポイント)

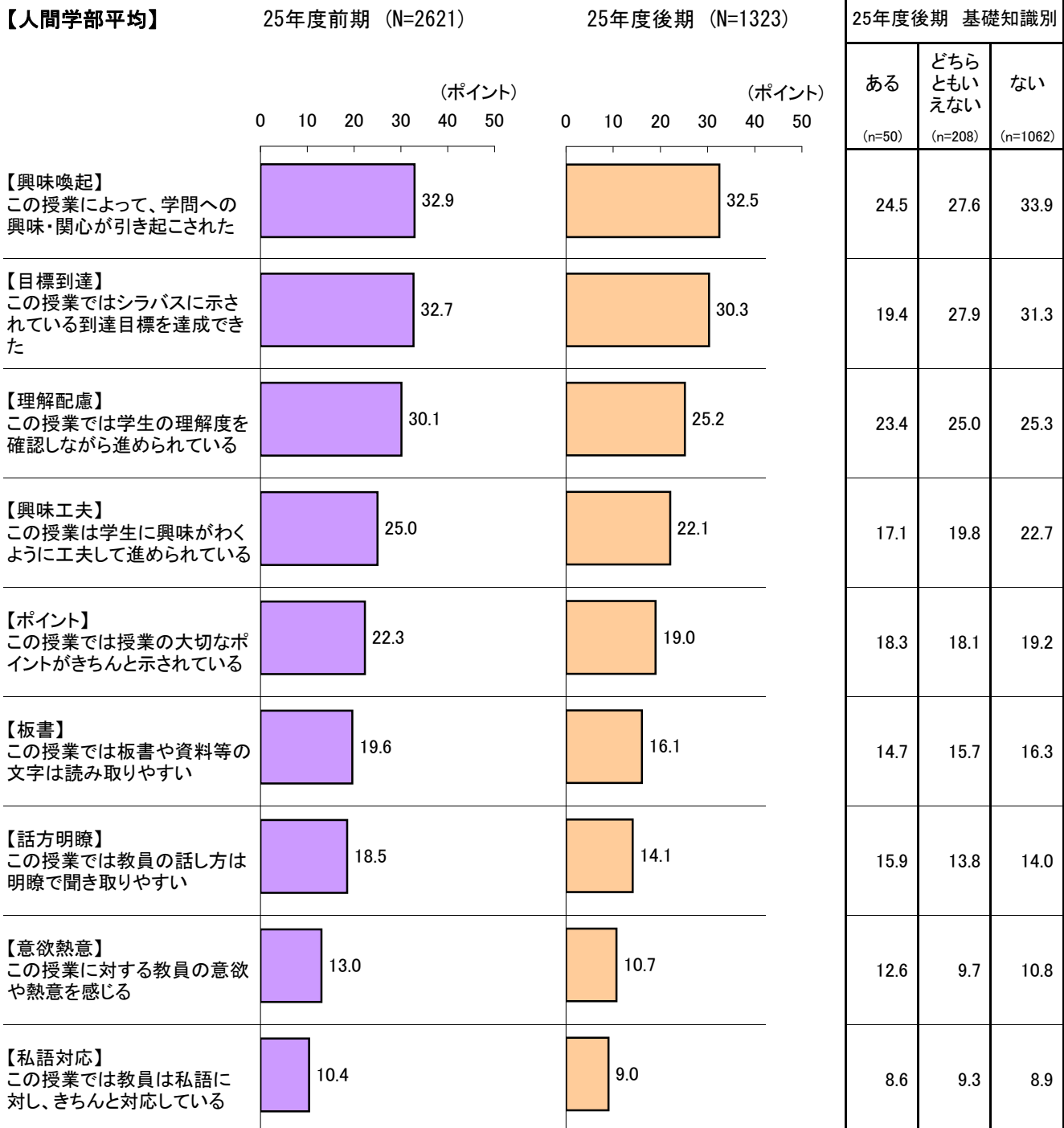
* 25年度後期全体より5ポイント以上高いものに網掛け

6 理解度から見た改善優先項目（人間学部）

[学生]

人間学部では、学生による改善優先度は「興味喚起」「目標到達」「理解配慮」で高く、学生の自己評価の基礎知識が「ない」学生ほどその意向が強い。一方、「私語対応」「意欲熱意」への改善優先度は低い。25年度後期は25年度前期と比較すると、「理解配慮」「話方明瞭」で改善優先度が低い。

<改善優先度>



(ポイント)

* 25年度後期全体より5ポイント以上高いものに網掛け

6 理解度から見た改善優先項目（教職課程・学芸員課程）〔学生〕

教職課程・学芸員課程では、学生による改善優先度は「興味喚起」「目標到達」「理解配慮」が高く、学生の自己評価の基礎知識が「ない」学生ほどその意向が強い。一方、「意欲熱意」「私語対応」への改善優先度は低い。25年度後期は25年度前期と比較すると、「興味喚起」「興味工夫」「話方明瞭」で改善優先度がやや高い。

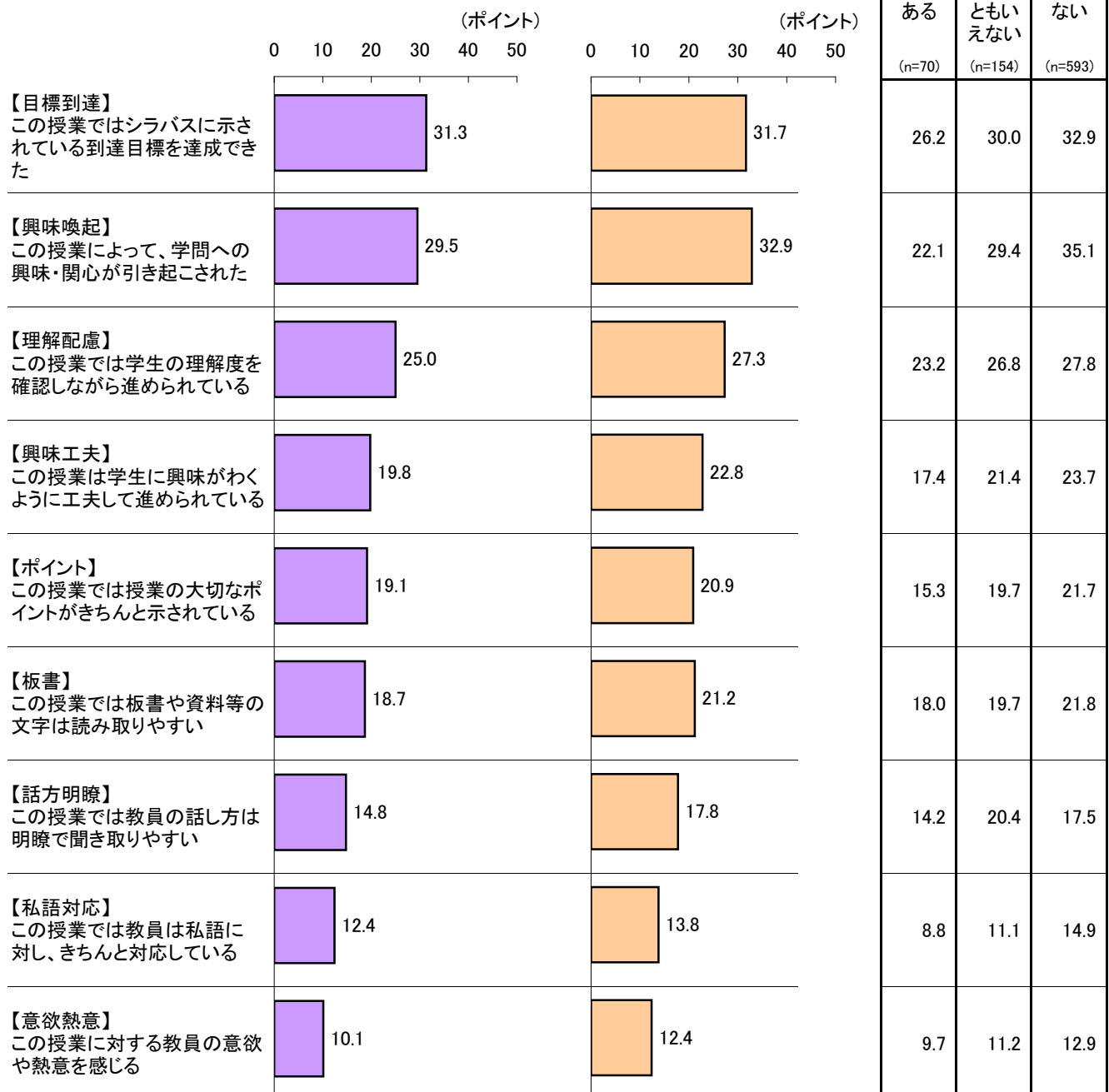
<改善優先度>

【教職課程・学芸員課程平均】

25年度前期 (N=1372)

25年度後期 (N=823)

25年度後期 基礎知識別



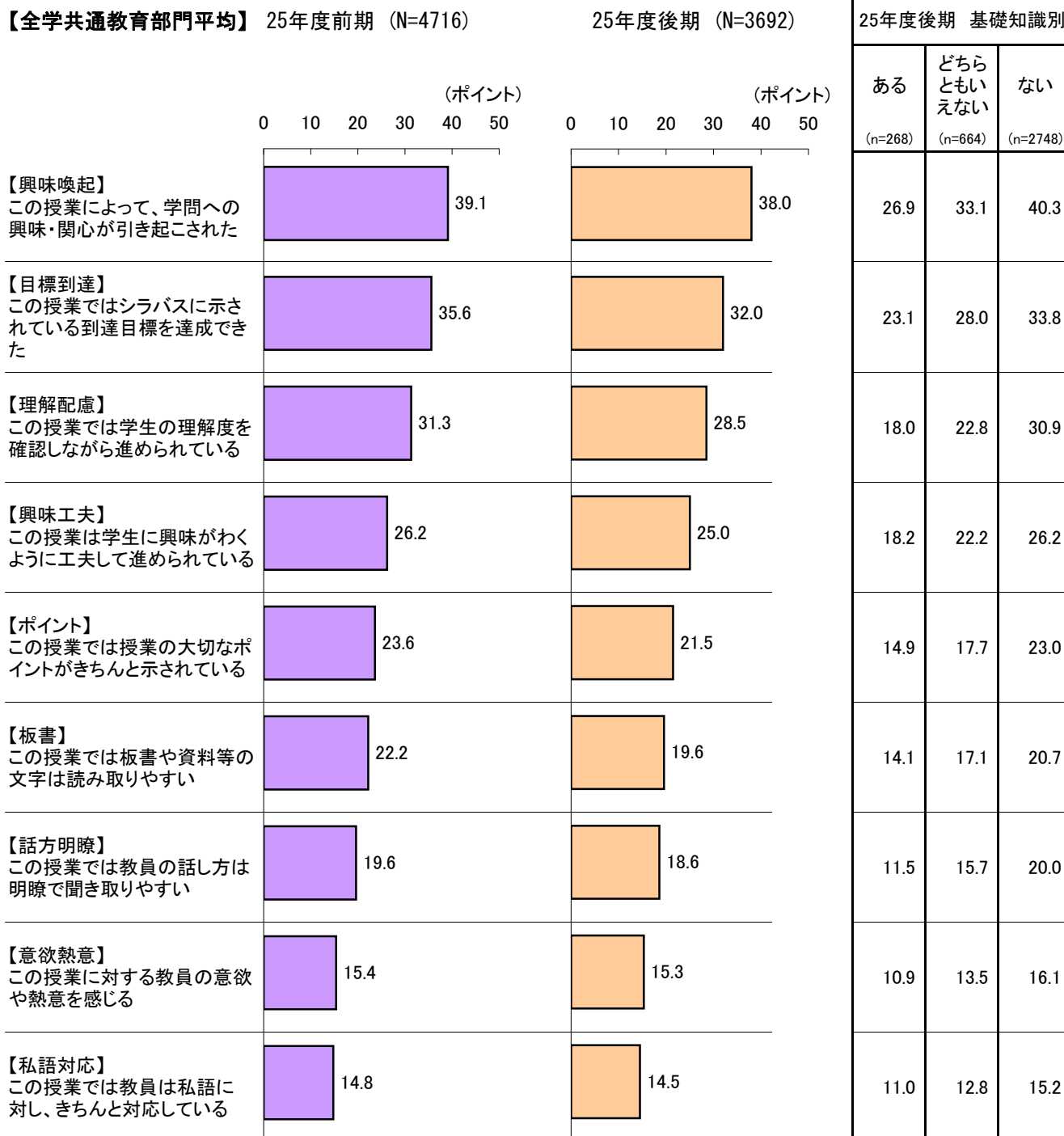
(ポイント)

* 25年度後期全体より5ポイント以上高いものに網掛け

6 理解度から見た改善優先項目（全学共通教育部門） [学生]

全学共通教育部門では、学生による改善優先度は「興味喚起」「目標到達」「理解配慮」が高く、学生の自己評価の基礎知識が「ない」学生ほどその意向が強い。一方、「私語対応」「意欲熱意」への改善優先度は低い。25年度後期は25年度前期と比較すると、「目標到達」で改善優先度がやや低い。

<改善優先度>



(ポイント)

* 25年度後期全体より5ポイント以上高いものに網掛け

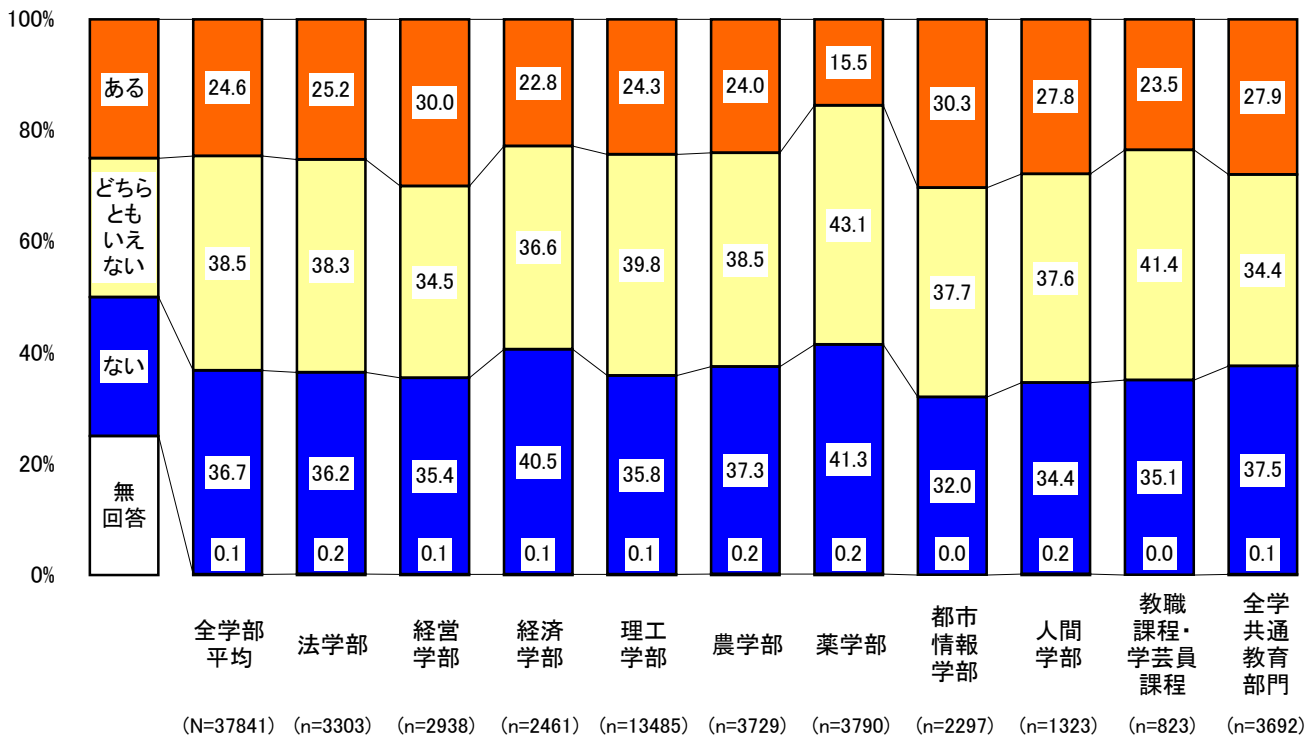
7 基礎知識別の理解度

[学生]

学生の基礎知識の分布と基礎知識別の理解度について調べた。
 基礎知識が「ある」学生が全体の25%を占めるが、薬学部ではその割合が最も低い。
 基礎知識が「ある」学生ほど理解度は高く、8割以上が授業を理解している。一方、基礎知識が「ない」学生では、「授業を理解している」との回答は3割に届かない。

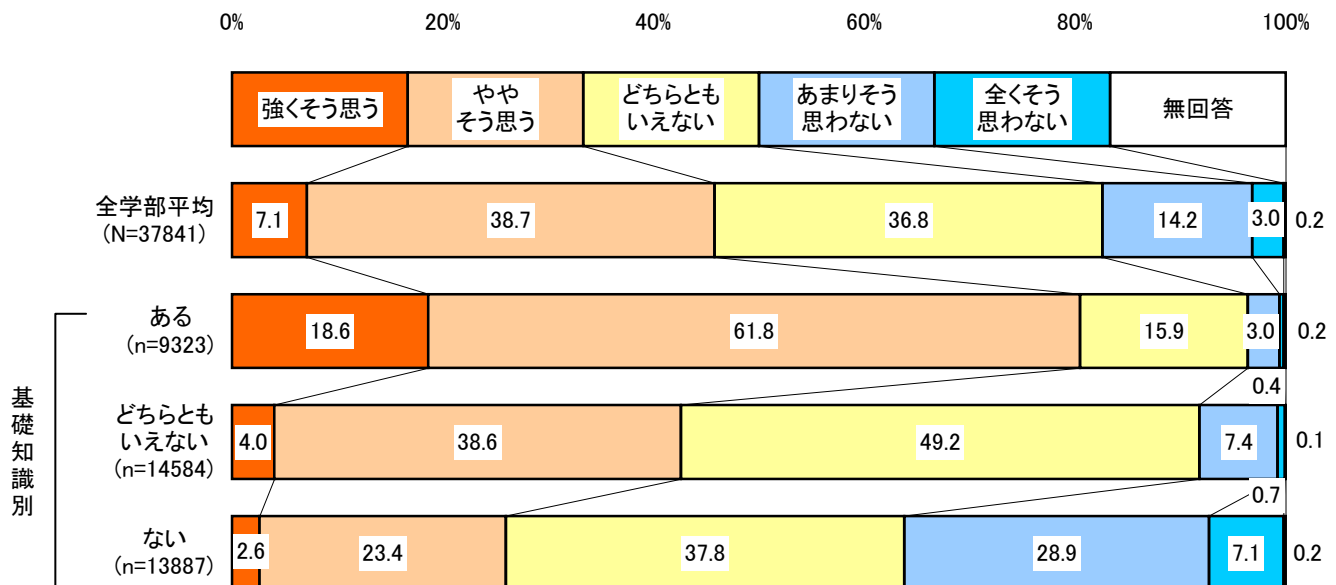
学生の基礎知識を聞いた「Q1. この授業を履修するにあたり、自分には基礎的な知識が十分にある」についての回答をもとに、基礎知識が「ある」「どちらともいえない」「ない」に分類した。
 また、各基礎知識別に理解度がどの程度変化があるのか確認する。

Q1. この授業を履修するにあたり、自分には基礎的な知識が十分にある
 <25年度後期 基礎知識レベルの分布> ※グラフは25年度後期のスコア



Q10. 自分はこの授業が理解できている。
 <25年度後期 基礎知識別理解度>

※グラフは25年度後期のスコア



8 理解度と自学自習時間の関係 (1)

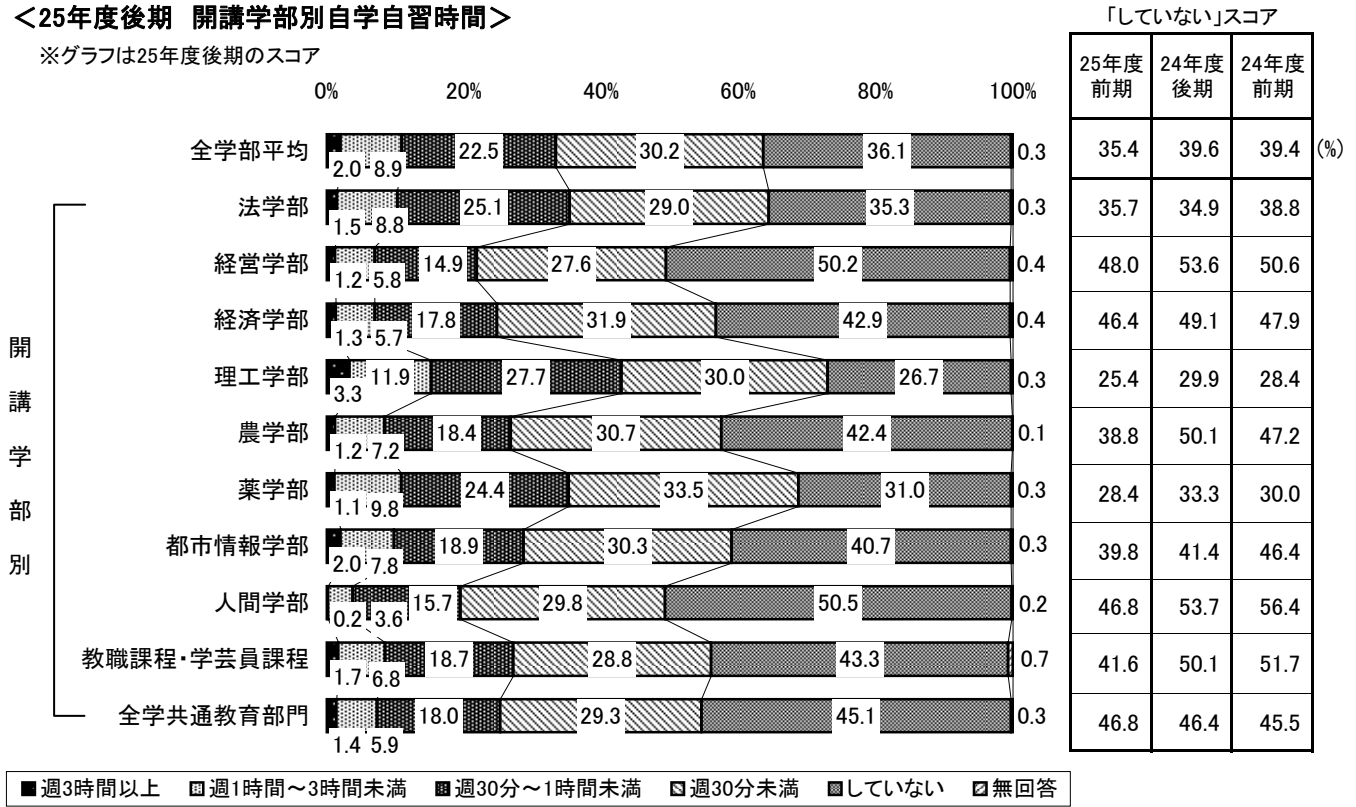
[学生]

自学自習時間と理解度との関係を各学部別に確認した。
 自学自習をしていない学生が4割弱を占めるが、理工学部ではその割合が最も低い。
 自学自習時間が長い学生ほど、授業に対する理解度が高い傾向がみられ、農学部では「週3時間以上」勉強している学生の理解度が特に上昇している。

Q2. この授業に対する1週間あたりの勉強時間(授業時間除く)は。

<25年度後期 開講学部別自学自習時間>

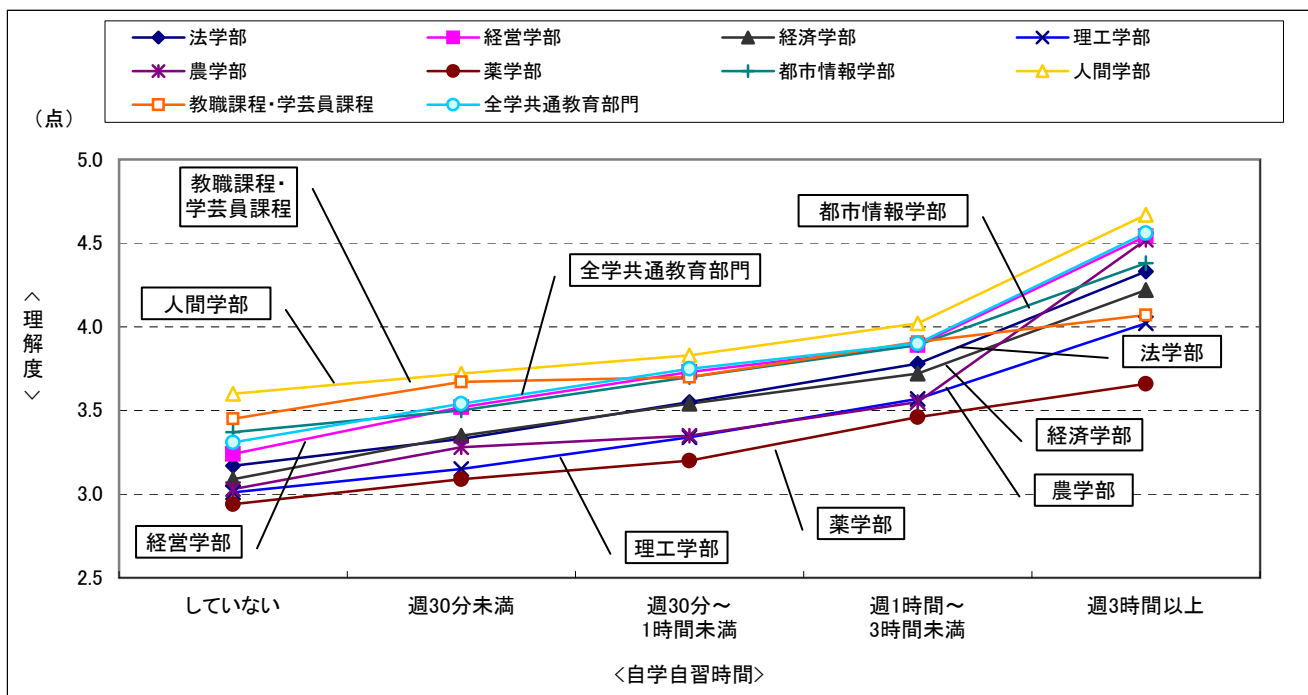
※グラフは25年度後期のスコア



Q10. 自分はこの授業が理解できている。

<25年度後期 理解度との関係>

※グラフは25年度後期のスコア



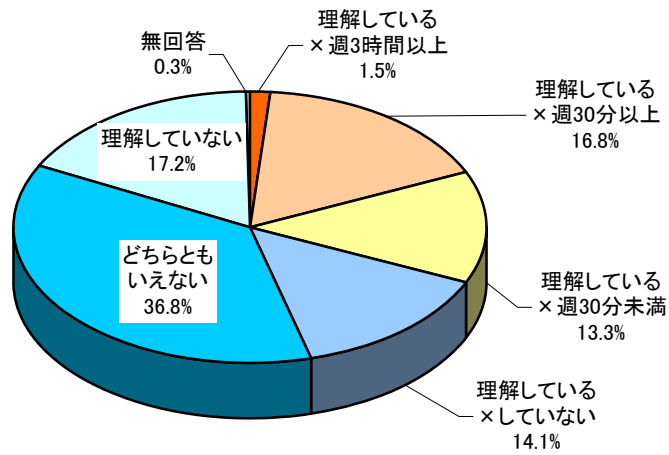
8 理解度と自学自習時間の関係（2）

[学生]

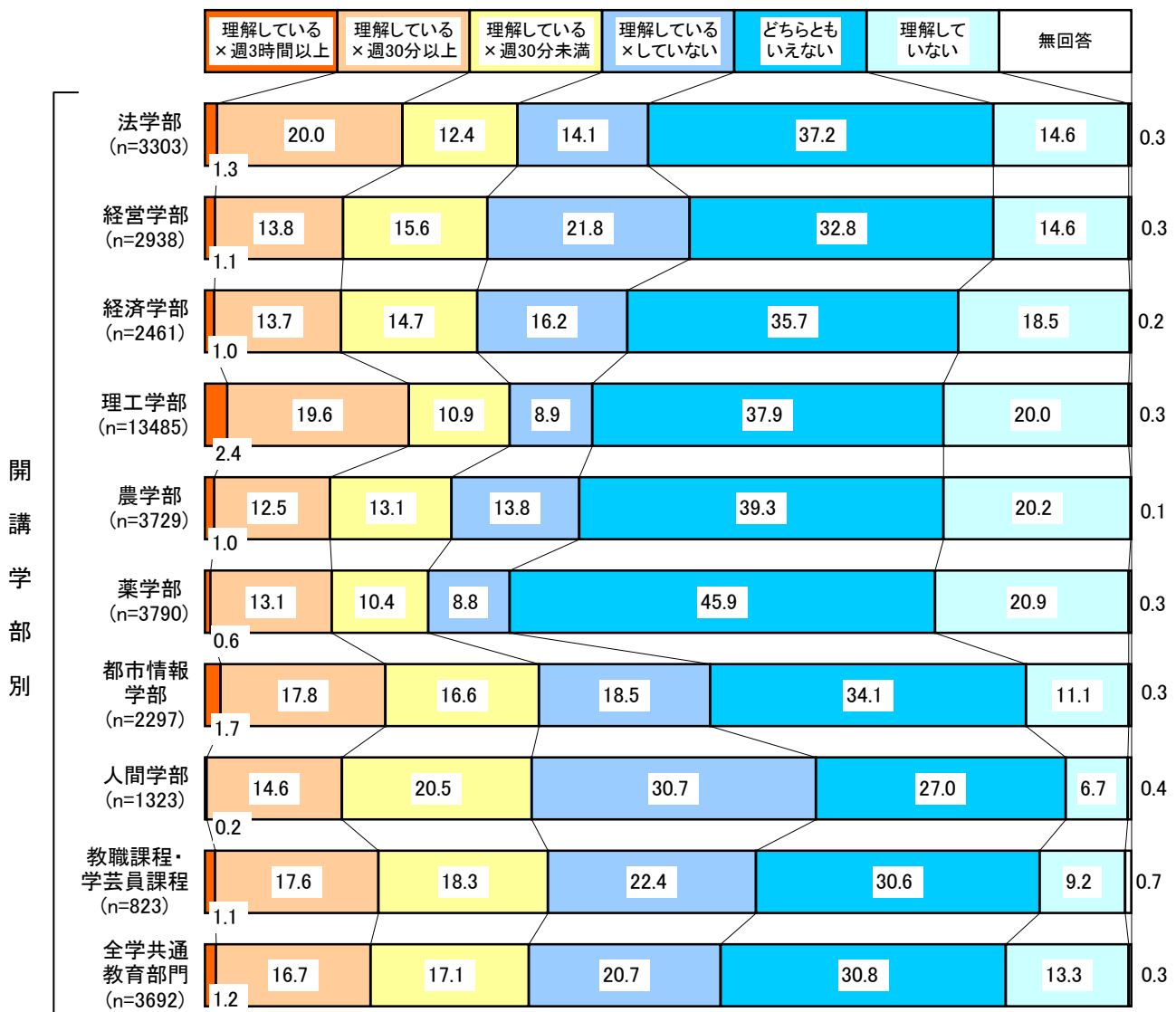
理解度と自学自習時間の関係をみると、「理解している」学生は全体の5割弱。そのうち自学自習時間が週3時間以上の学生は2%にすぎず、学部別でみても大きな差はみられない。また、週30分以上の学生は法学部、理工学部で約2割を占める。薬学部、農学部、理工学部で「理解していない」割合が高い。

<理解度 × 自学自習時間>

全学部平均
(N=37841)



0% 20% 40% 60% 80% 100%



※「理解している」は「強くそう思う」+「ややそう思う」、「理解していない」は「あまりそう思わない」+「全くそう思わない」

8 理解度と自学自習時間の関係（3）（授業プロット）

[授業]

自学自習時間と理解度の関係を平面上に各授業をプロットした。
 自学自習時間も長く、理解度の高い右上の①象限にある授業数の割合は24年度後期と比較すると大きな変化はない。

<理解度×自学自習時間>

25年度後期

象限	授業数(638授業)	
①	133	20.8
②	131	20.5
③	185	29.0
④	189	29.6%

25年度前期

象限	授業数(740授業)	
①	166	22.4
②	136	18.4
③	239	32.3
④	199	26.9%

24年度後期

象限	授業数(662授業)	
①	137	20.7
②	134	20.2
③	197	29.8
④	194	29.3%

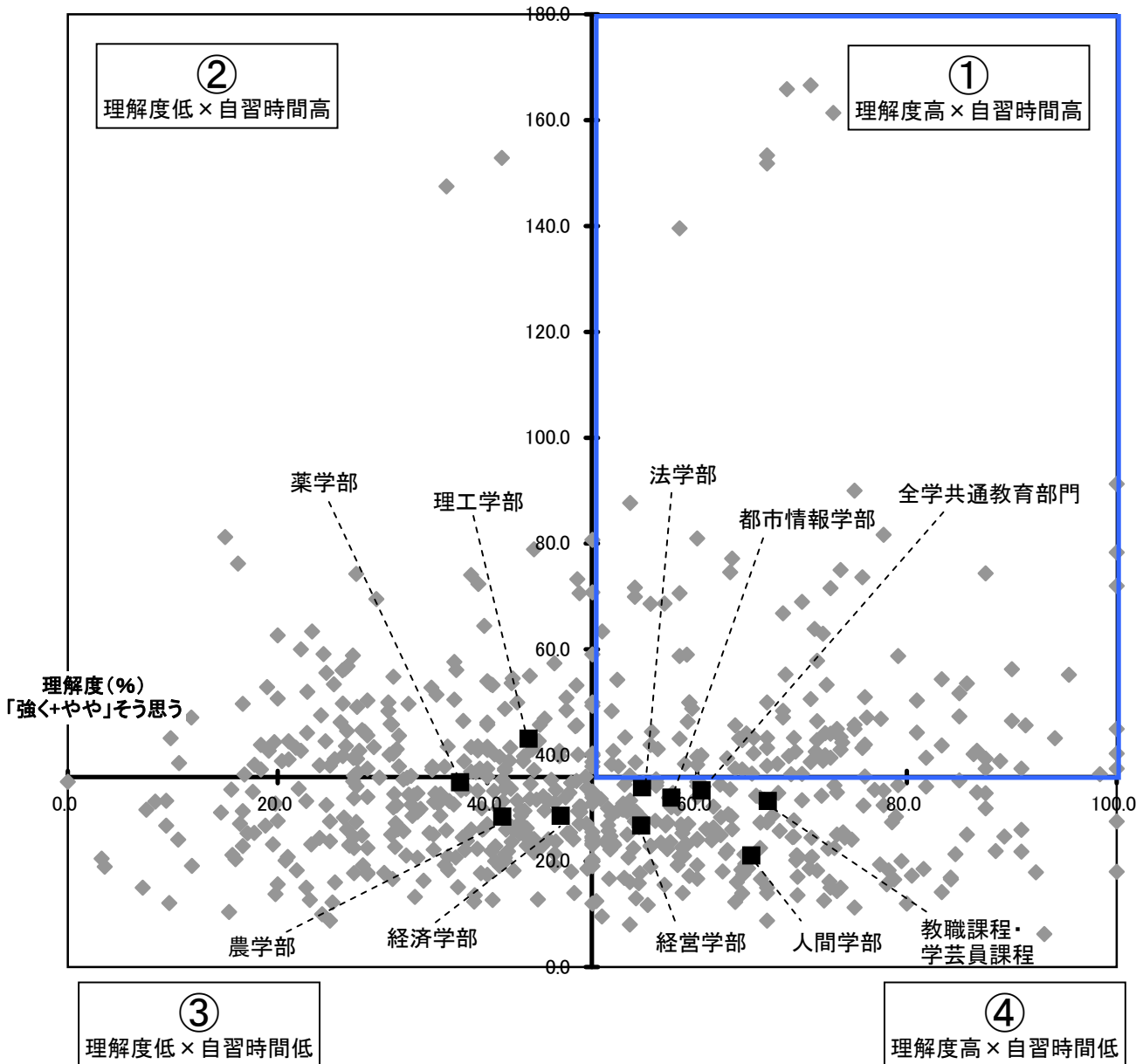
24年度前期

象限	授業数(684授業)	
①	136	19.9
②	135	19.7
③	218	31.9
④	195	28.5%

【25年度後期】

※グラフは25年度後期のスコア

自学自習時間(分)



※軸は理解度(「強く+やや」)・自学自習時間の平均

8 理解度と自学自習時間の関係（3）（授業プロット）

[授業]

自学自習時間が長く、理解度も高い①象限に含まれる授業が多かった学部は、全学共通教育部門、教職課程・学芸員課程。教職課程・学芸員課程は①象限の授業が25年度前期よりも10ポイント以上増加した。薬学部、人間学部、農学部、経済学部、経営学部は①象限の授業が1割に届かない。

<理解度×自学自習時間>

【全学部平均】

象限	25年度後期 (638授業)	25年度前期 (740授業)	24年度後期 (662授業)	24年度前期 (684授業)
①	20.8	22.4	20.7	19.9
②	20.5	18.4	20.2	19.7
③	29.0	32.3	29.8	31.9
④	29.6	26.9	29.3	28.5

【法学部】

象限	25年度後期 (81授業)	25年度前期 (97授業)	24年度後期 (80授業)	24年度前期 (89授業)
①	27.2	33.0	28.8	27.0
②	14.8	15.5	13.8	10.1
③	25.9	29.9	23.8	33.7
④	32.1	21.6	33.8	29.2

【薬学部】

象限	25年度後期 (40授業)	25年度前期 (83授業)	24年度後期 (39授業)	24年度前期 (35授業)
①	2.5	13.3	10.3	14.3
②	42.5	38.6	43.6	40.0
③	40.0	33.7	30.8	25.7
④	15.0	14.5	15.4	20.0

【経営学部】

象限	25年度後期 (37授業)	25年度前期 (38授業)	24年度後期 (41授業)	24年度前期 (39授業)
①	8.1	13.2	9.8	10.3
②	0.0	2.6	2.4	5.1
③	40.5	50.0	39.0	43.6
④	51.4	34.2	48.8	41.0

【都市情報学部】

象限	25年度後期 (38授業)	25年度前期 (41授業)	24年度後期 (40授業)	24年度前期 (37授業)
①	21.1	29.3	25.0	8.1
②	5.3	2.4	15.0	10.8
③	28.9	34.1	25.0	32.4
④	44.7	34.1	35.0	48.6

【経済学部】

象限	25年度後期 (25授業)	25年度前期 (26授業)	24年度後期 (24授業)	24年度前期 (22授業)
①	8.0	0.0	8.3	4.5
②	8.0	3.8	4.2	4.5
③	40.0	69.2	58.3	54.5
④	44.0	26.9	29.2	36.4

【人間学部】

象限	25年度後期 (17授業)	25年度前期 (26授業)	24年度後期 (19授業)	24年度前期 (28授業)
①	5.9	11.5	0.0	14.3
②	0.0	0.0	5.3	0.0
③	11.8	15.4	10.5	21.4
④	82.4	73.1	84.2	64.3

【理工学部】

象限	25年度後期 (243授業)	25年度前期 (260授業)	24年度後期 (245授業)	24年度前期 (262授業)
①	21.4	24.2	18.8	20.6
②	34.2	26.9	36.3	35.9
③	27.2	31.5	29.8	31.7
④	17.3	17.3	15.1	11.8

【教職課程・学芸員課程】

象限	25年度後期 (18授業)	25年度前期 (27授業)	24年度後期 (19授業)	24年度前期 (25授業)
①	33.3	22.2	26.3	12.0
②	5.6	7.4	0.0	0.0
③	16.7	18.5	5.3	20.0
④	44.4	51.9	68.4	68.0

【農学部】

象限	25年度後期 (43授業)	25年度前期 (45授業)	24年度後期 (45授業)	24年度前期 (42授業)
①	7.0	8.9	0.0	7.1
②	14.0	15.6	6.7	11.9
③	48.8	37.8	55.6	40.5
④	30.2	37.8	37.8	40.5

【全学共通教育部門】

象限	25年度後期 (96授業)	25年度前期 (97授業)	24年度後期 (110授業)	24年度前期 (105授業)
①	36.5	30.9	39.1	33.3
②	8.3	7.2	4.5	5.7
③	20.8	23.7	22.7	25.7
④	34.4	38.1	33.6	35.2

*全体より10ポイント以上高いものに網掛け

各授業における受講者数(登録学生数)とアンケート回答者数から出席率を算出した。出席率が高いのは薬学部で90%に達する。一方、経済学部、都市情報学部、法学部では6割に届かない。

各授業の受講学生(登録学生)数と本アンケート調査の回答者数をもとに出席率を計算した。ここで表す出席率とは

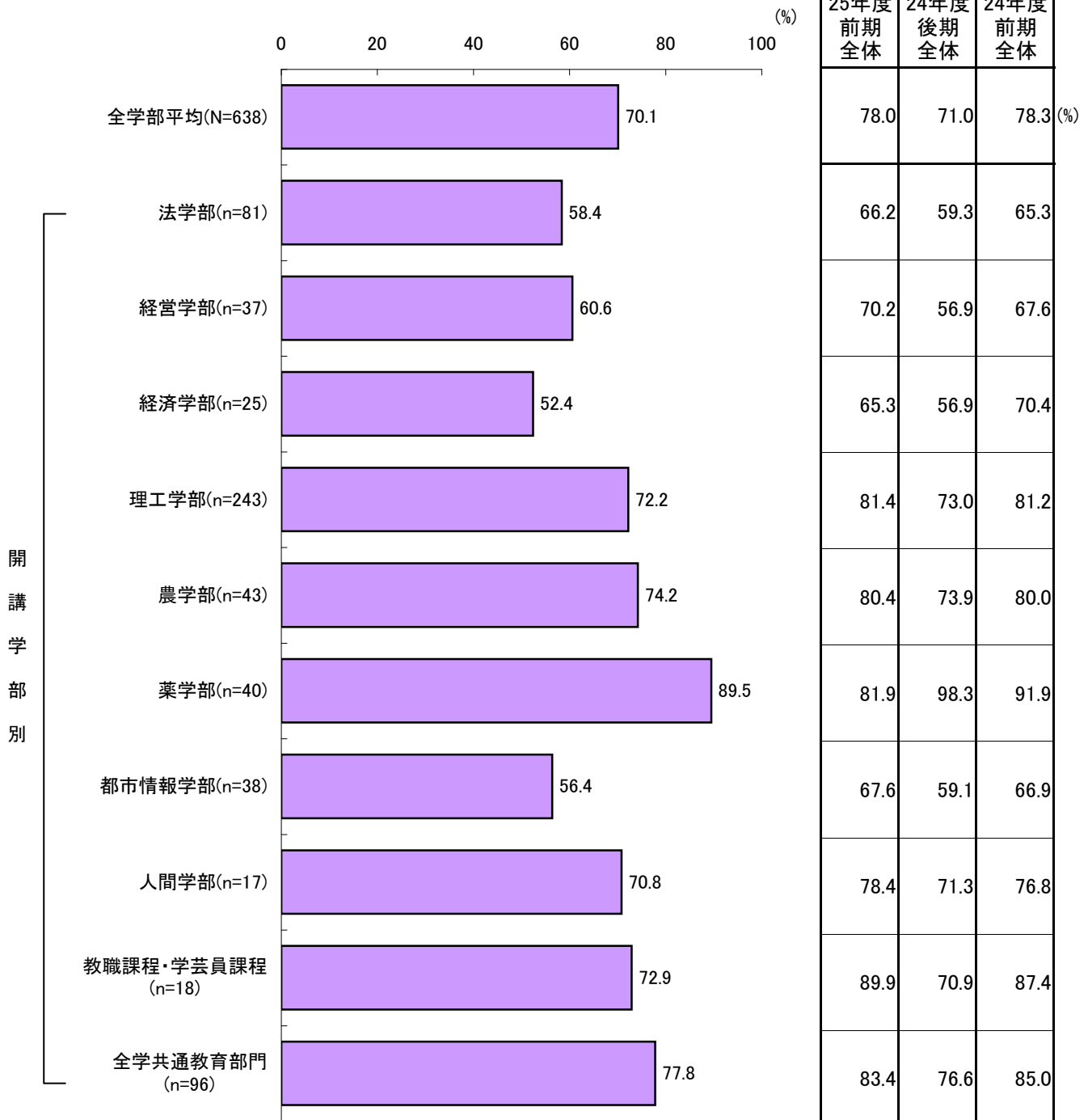
$$\text{出席率} = \frac{\text{本アンケート回答者数(各授業における)}}{\text{受講者数(登録学生数)}}$$

とした。

<25年度後期 出席率>

※グラフは25年度後期のスコア

授業ベース



10 出席学生数と出席学生規模別理解度

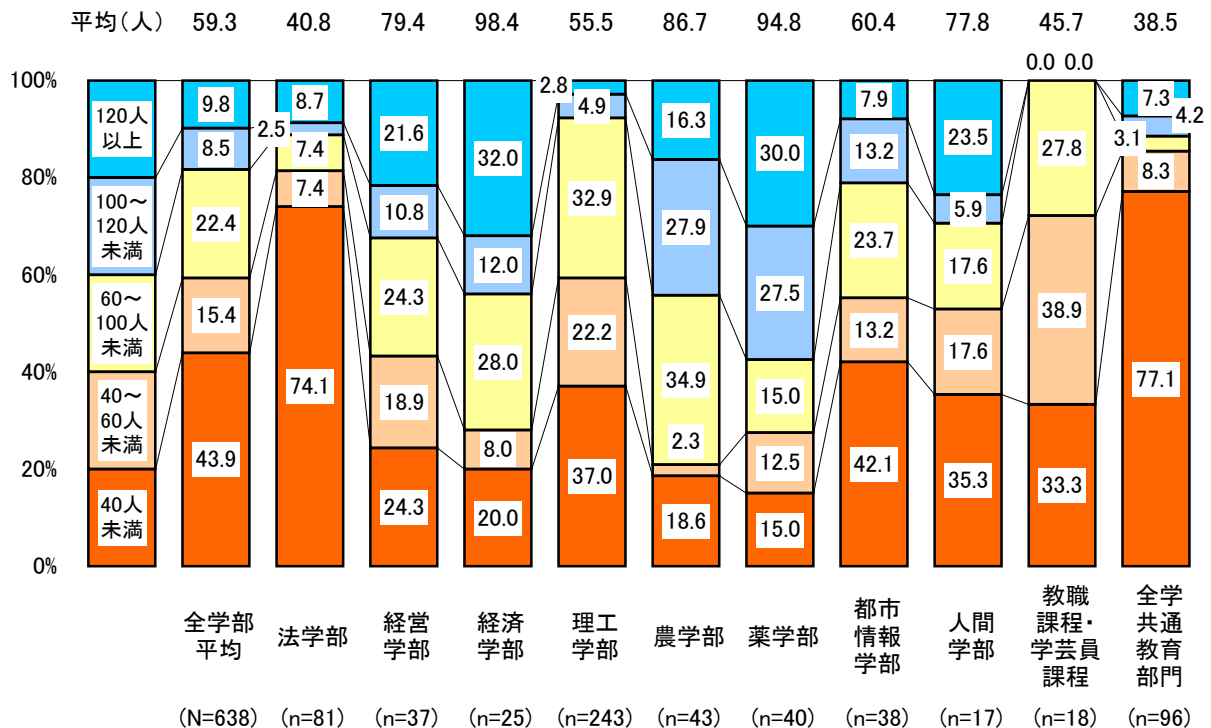
[授業]

各授業別の回答者数を出席学生数と捉え、出席学生数別に理解度を確認した。
1クラスあたりの出席者が30人未満になると理解度が高くなることが確認できる。それ以上の出席者の授業では出席者の人数による理解度の変化は小さい。

<25年度後期 一授業あたりの出席学生数(アンケート回答者数)>

授業ベース

※グラフは25年度後期のスコア

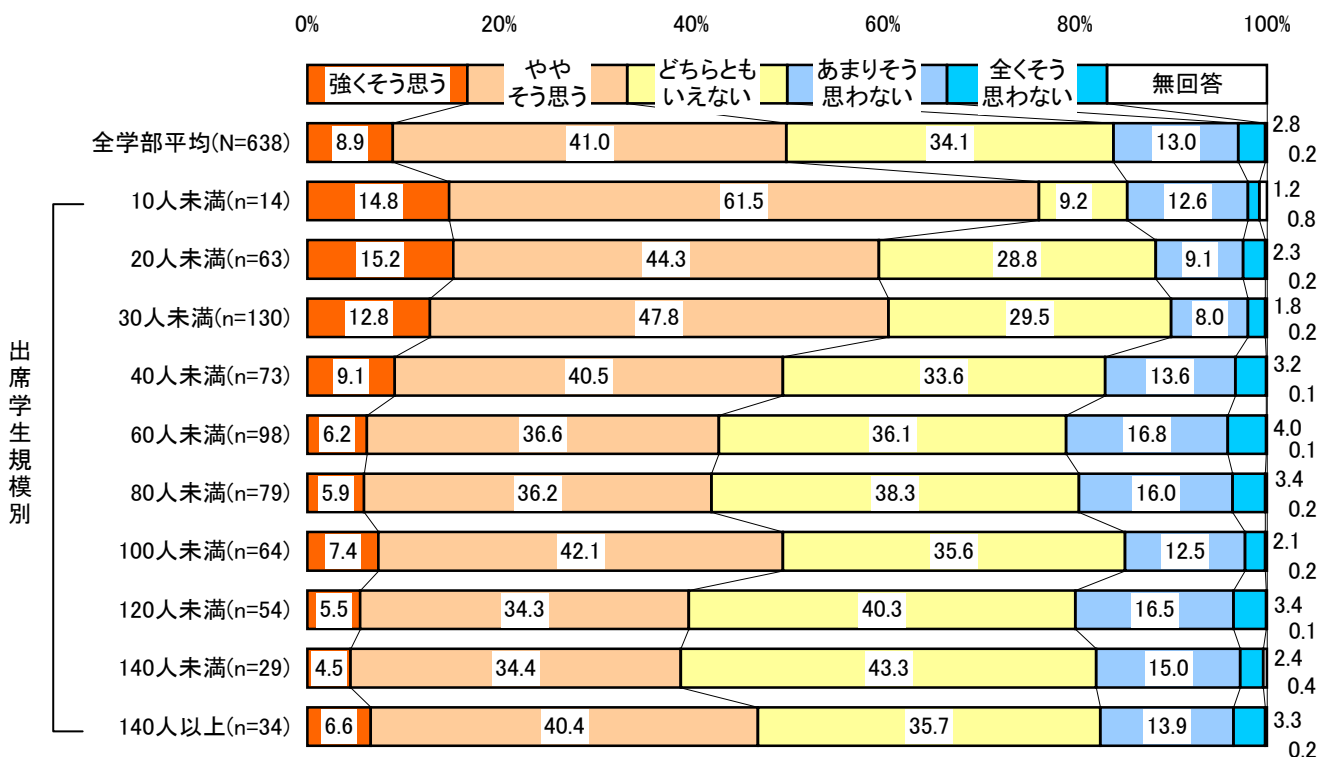


Q10. 自分はこの授業が理解できている。

<25年度後期 出席学生(アンケート回答者)規模別理解度>

※グラフは25年度後期のスコア

授業ベース



基礎データ

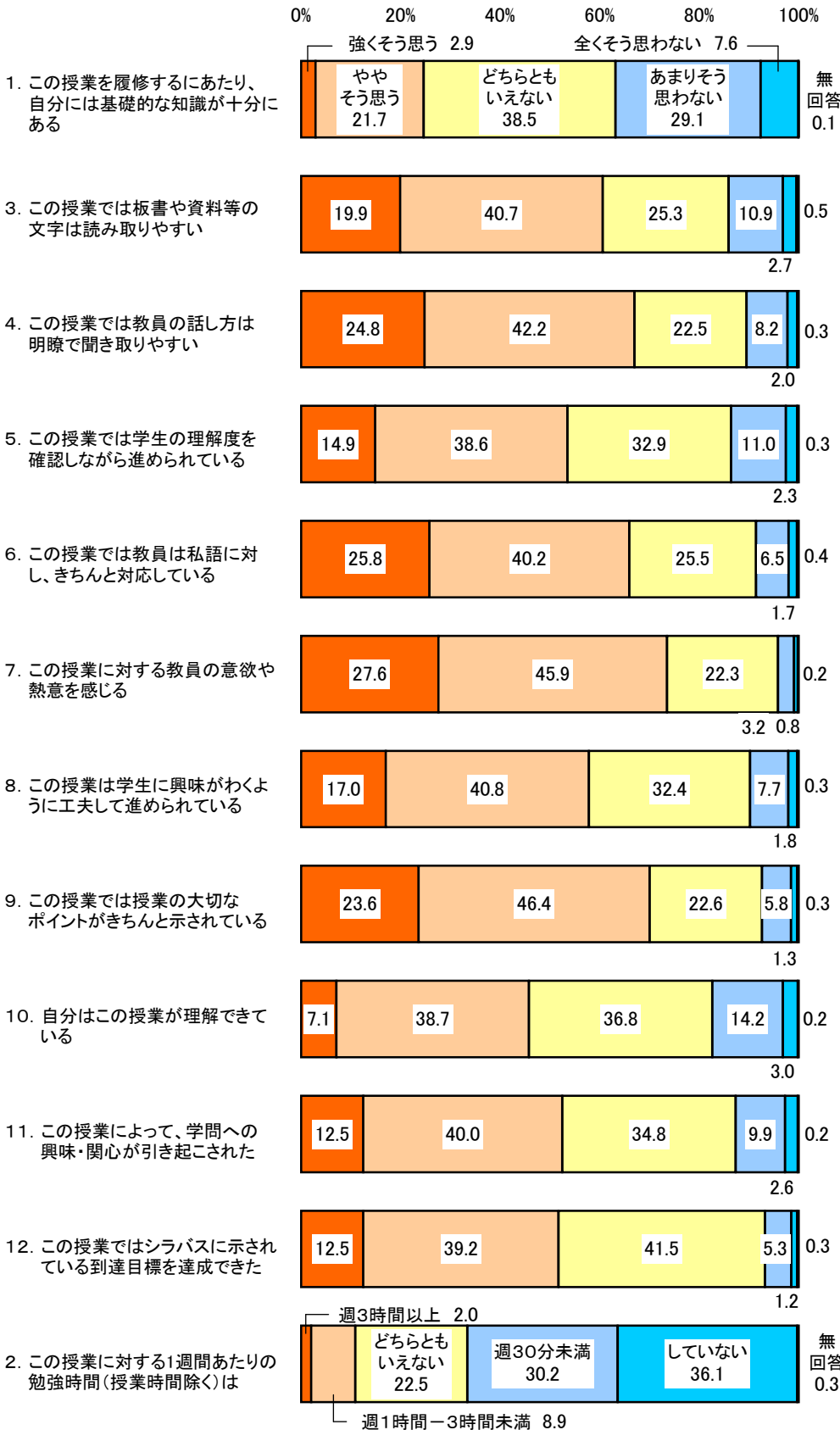
11 学生評価の時系列比較

[学生]

半数以上の学生は、教員が多くの項目において授業改善に努めていること、意欲や熱意を持って授業を進めていると感じており、学問への興味・関心が引き起こされたとしている。

【25年度後期 全学部平均】 (N=37841)

※グラフは25年度後期のスコア



25年度後期 常勤	25年度後期 非常勤	25年度前期 全体	24年度後期 全体	24年度前期 全体
23.9	26.1	24.5	22.1	21.7
61.3	59.4	57.7	63.9	61.4
66.5	68.1	64.2	68.0	64.7
52.6	55.3	50.3	48.2	43.4
68.8	60.1	63.9	64.9	62.9
73.6	73.2	72.4	73.0	70.6
56.6	60.5	55.8	56.7	53.1
70.7	68.4	68.2	67.2	65.0
43.9	50.0	45.6	43.3	41.4
52.0	53.7	51.3	54.9	51.8
51.0	53.0	48.7	-	-
11.2	10.1	11.1	9.4	9.4

※数表は各設問上位2選択肢の合計(%)

12 基礎データ学生用設問 基礎知識

[学生]

基礎知識に関する学生の自己評価は低く、十分な基礎知識があると「強くそう思う」と回答した学生はいずれの学部も5%に届かない。

【25年度後期】 Q1. この授業を履修するにあたり、自分には基礎的な知識が十分にある。

※グラフは25年度後期のスコア



※数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

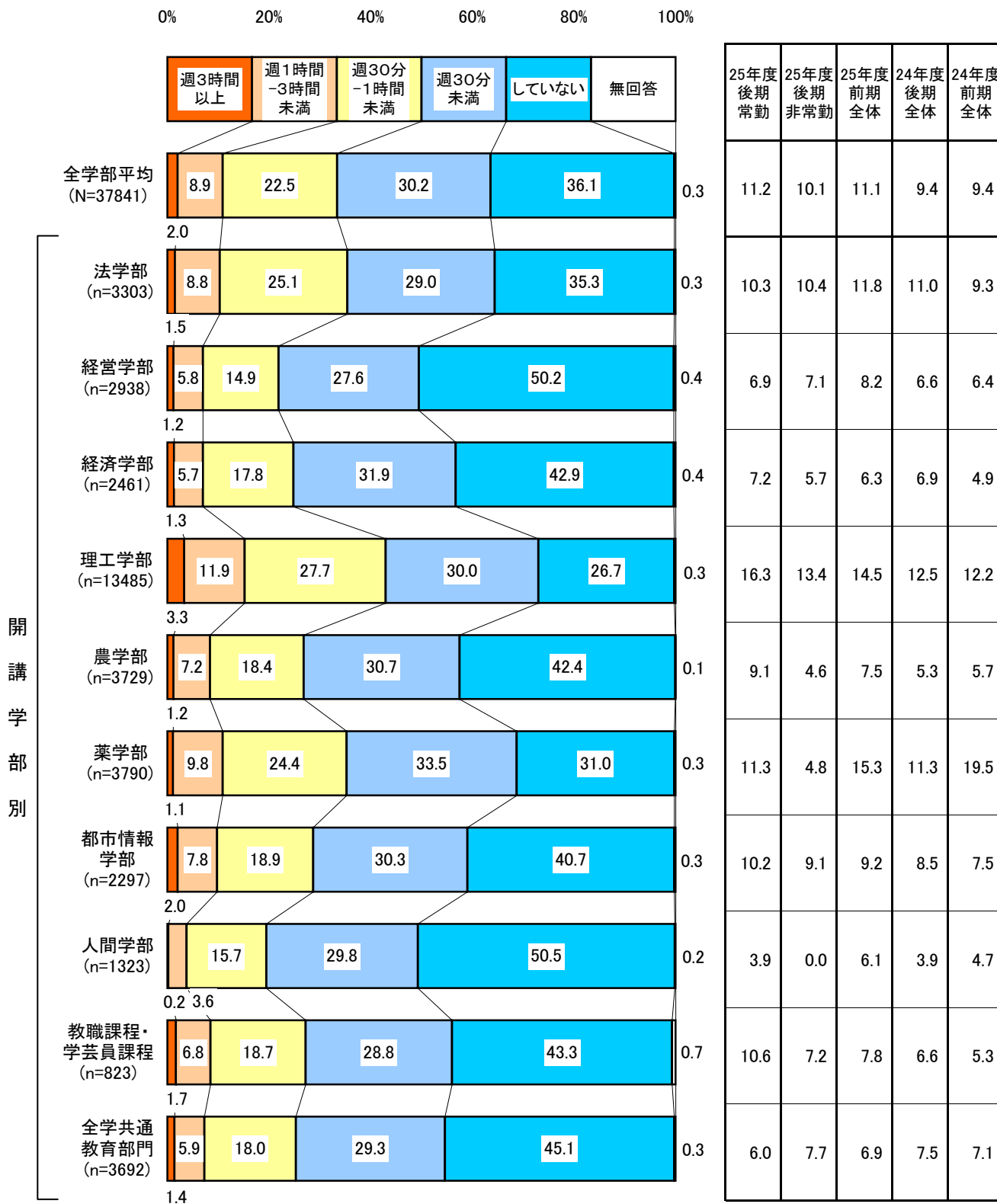
12 基礎データ学生用設問 自学自習時間

[学生]

4割弱の学生が、自学自習を全くしていないと回答しており、経営学部、人間学部では5割を超える。理工学部は他学部等 비해勉強時間が長い。

【25年度後期】 Q2. この授業に対する1週間あたりの勉強時間(授業時間除く)は。

※グラフは25年度後期のスコア



※数表は「週3時間以上」+「週1時間-3時間未満」(%)

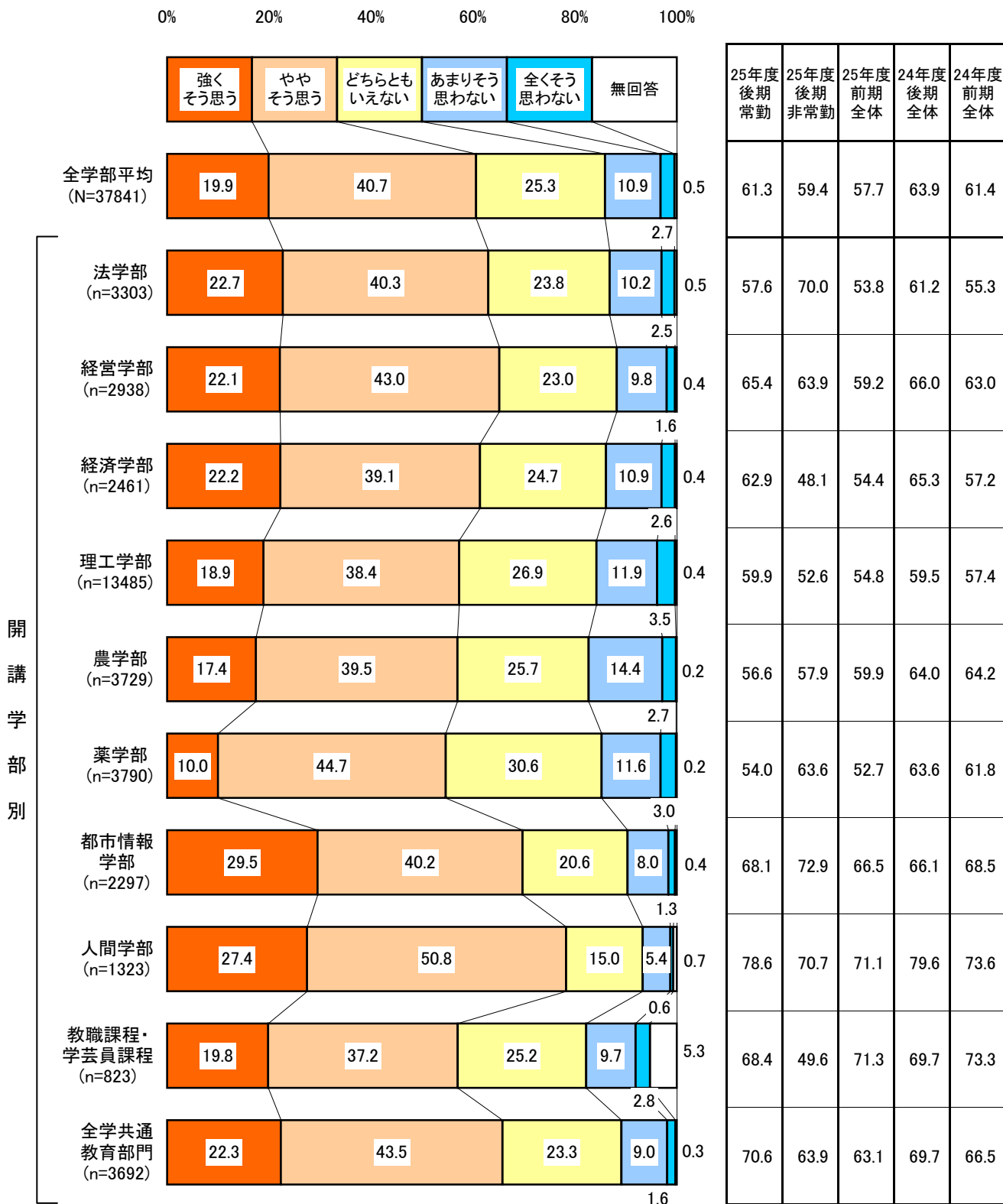
12 基礎データ学生用設問 板書

[学生]

6割強の学生が板書や資料等の文字は読み取りやすいと回答しており、人間学部では約8割にのぼる。

【25年度後期】 Q3. この授業では板書や資料等の文字は読み取りやすい。

※グラフは25年度後期のスコア



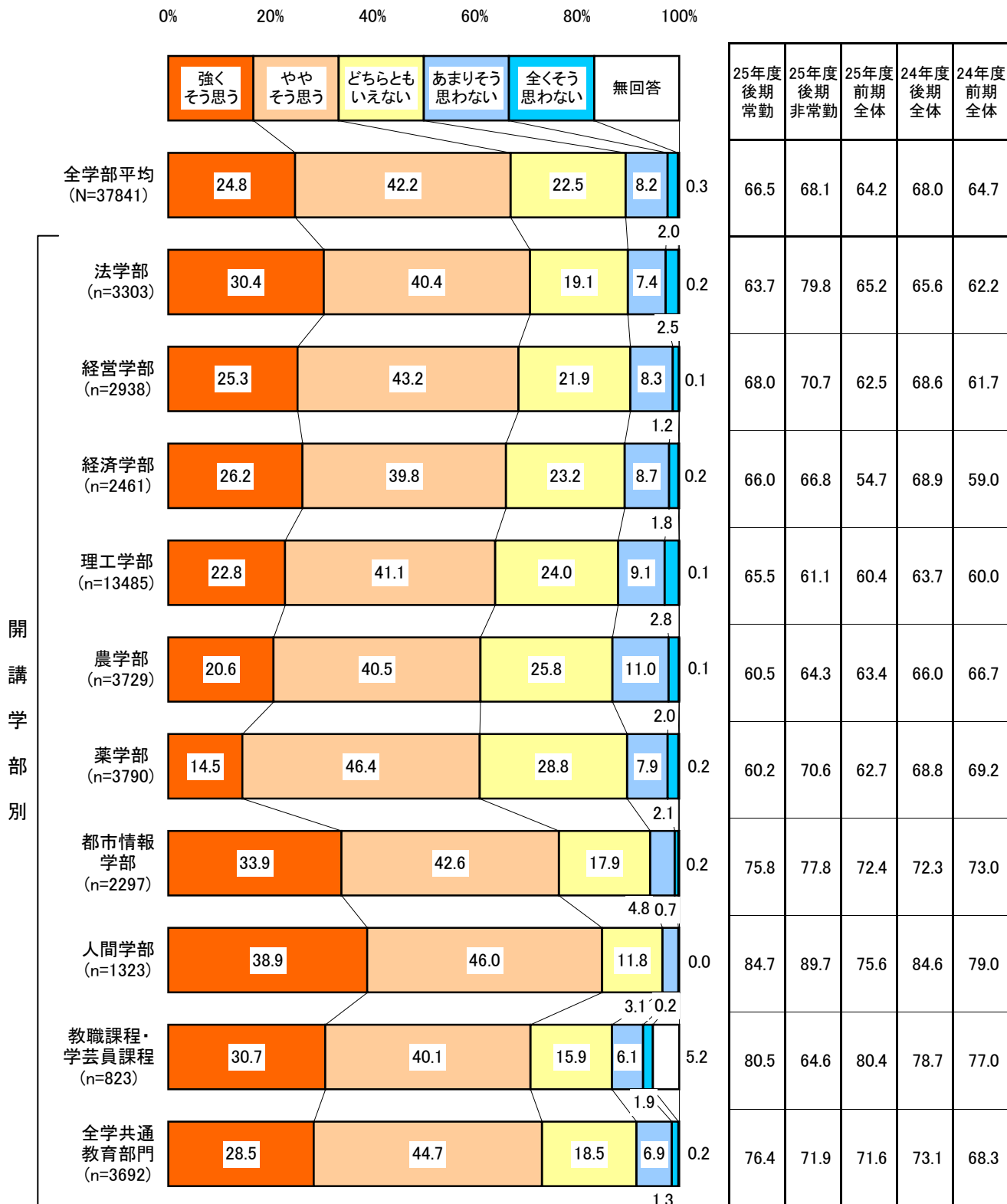
※数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

12 基礎データ学生用設問 話方明瞭

[学生]

7割弱の学生は教員の話方は明瞭で聞きやすいと回答しており、人間学部では8割台にのぼる。

【25年度後期】 Q4. この授業では教員の話方は明瞭で聞き取りやすい。
 ※グラフは25年度後期のスコア



※数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

12 基礎データ学生用設問 理解配慮

[学生]

教員が理解度に配慮した授業を行っていると感じた学生は5割強。人間学部では7割弱と高い。

【25年度後期】 Q5. この授業では学生の理解度を確認しながら進められている。

※グラフは25年度後期のスコア



※数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

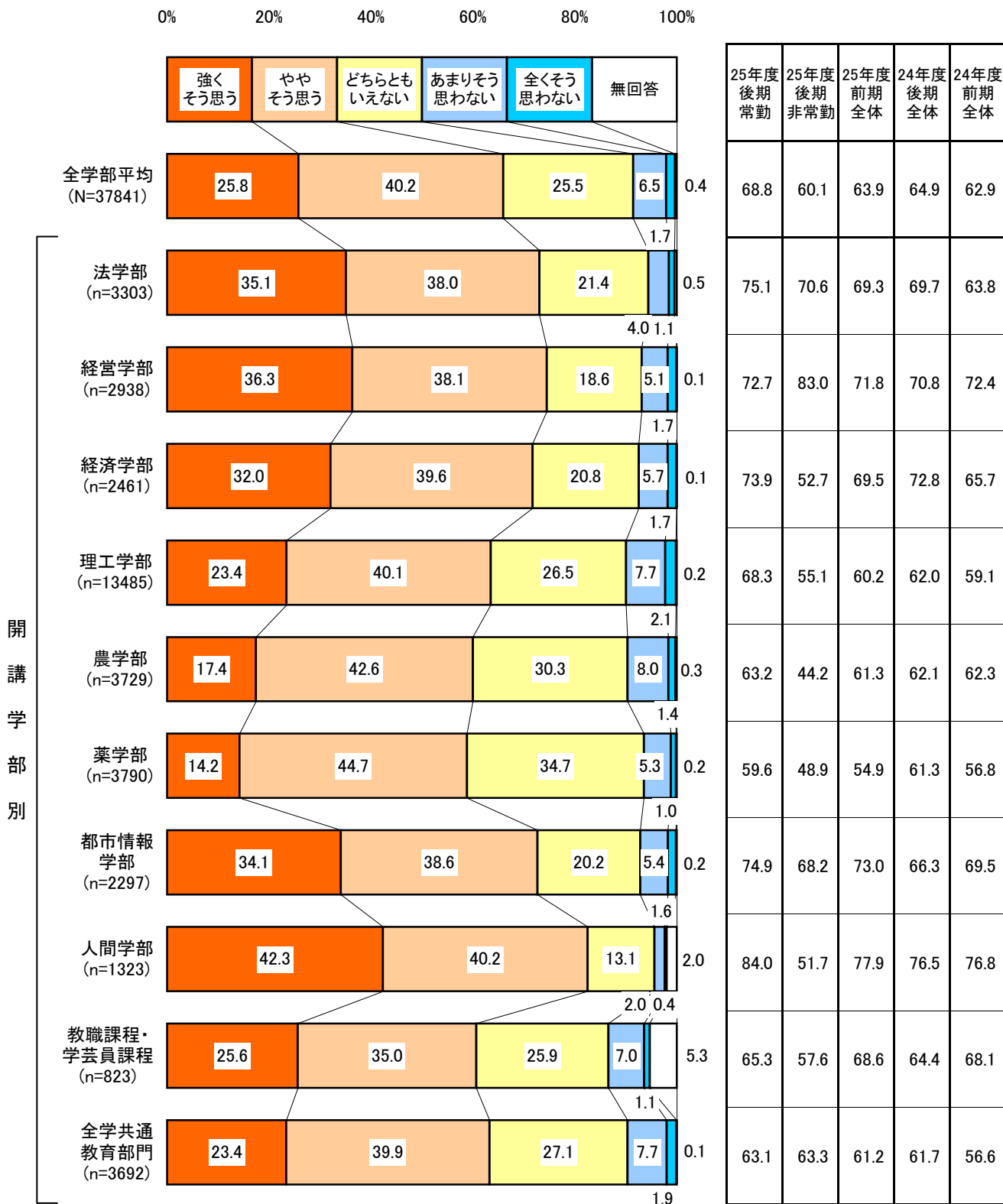
12 基礎データ学生用設問 私語対応

[学生]

7割弱の学生は、教員が私語に対し、きちんと対応していると回答し、人間学部では8割強にのぼる。

【25年度後期】 Q6. この授業では教員は私語に対し、きちんと対応している。

※グラフは25年度後期のスコア



※数表は「強く思う」+「やや思う」(%)

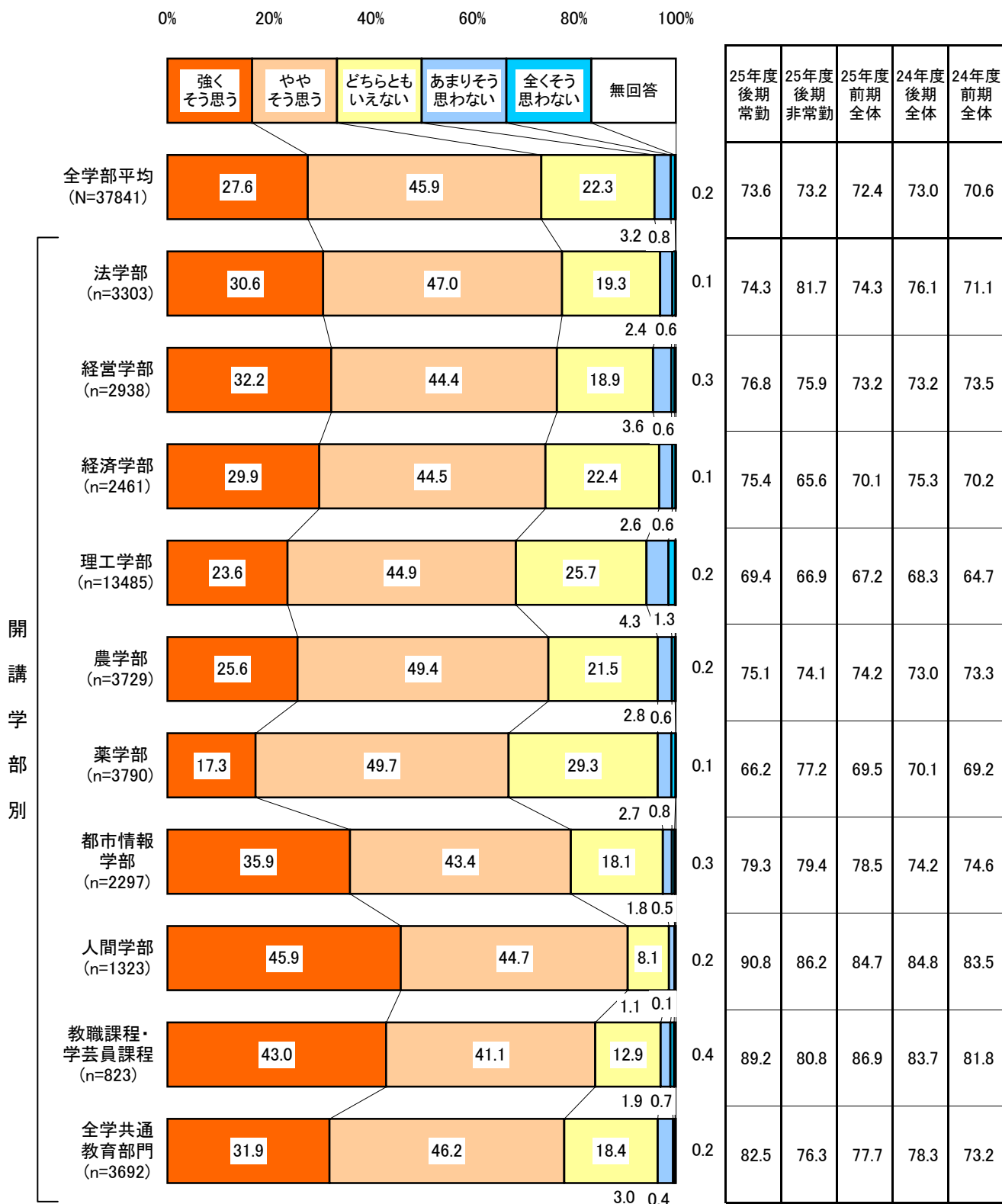
12 基礎データ学生用設問 意欲熱意

[学生]

7割強の学生は授業に対する教員の意欲や熱意を感じており、特に人間学部では9割を超え、教職課程・学芸員課程でも8割強と他学部を上回る。

【25年度後期】 Q7. この授業に対する教員の意欲や熱意を感じる。

※グラフは25年度後期のスコア



※数表は「強く思う」+「やや思う」(%)

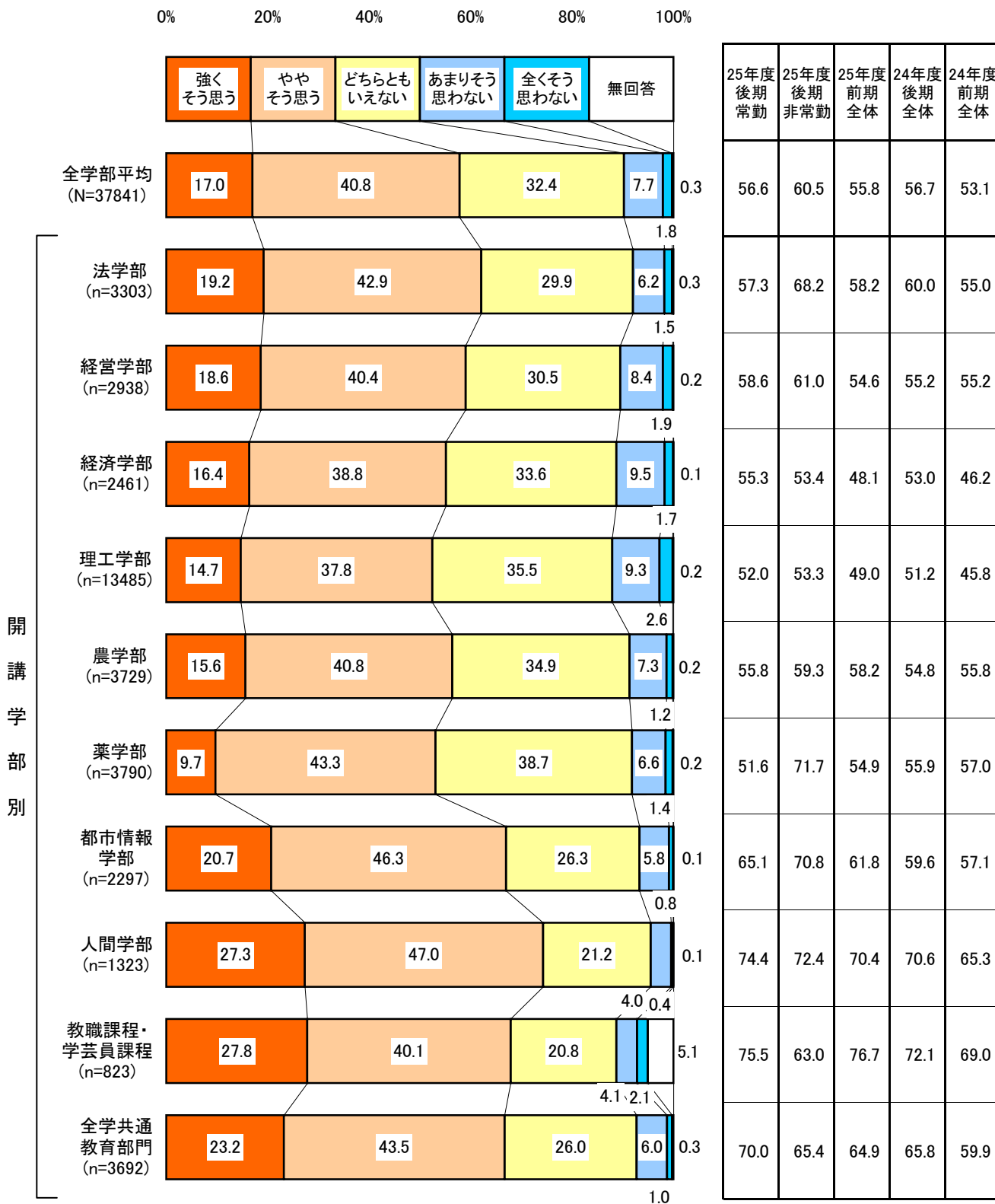
12 基礎データ学生用設問 興味工夫

[学生]

6割弱の学生は、教員が授業に興味を持たせる努力をしていると感じている。中でも人間学部では7割強にのぼる。

【25年度後期】 Q8. この授業は学生に興味がわくように工夫して進められている。

※グラフは25年度後期のスコア



※数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

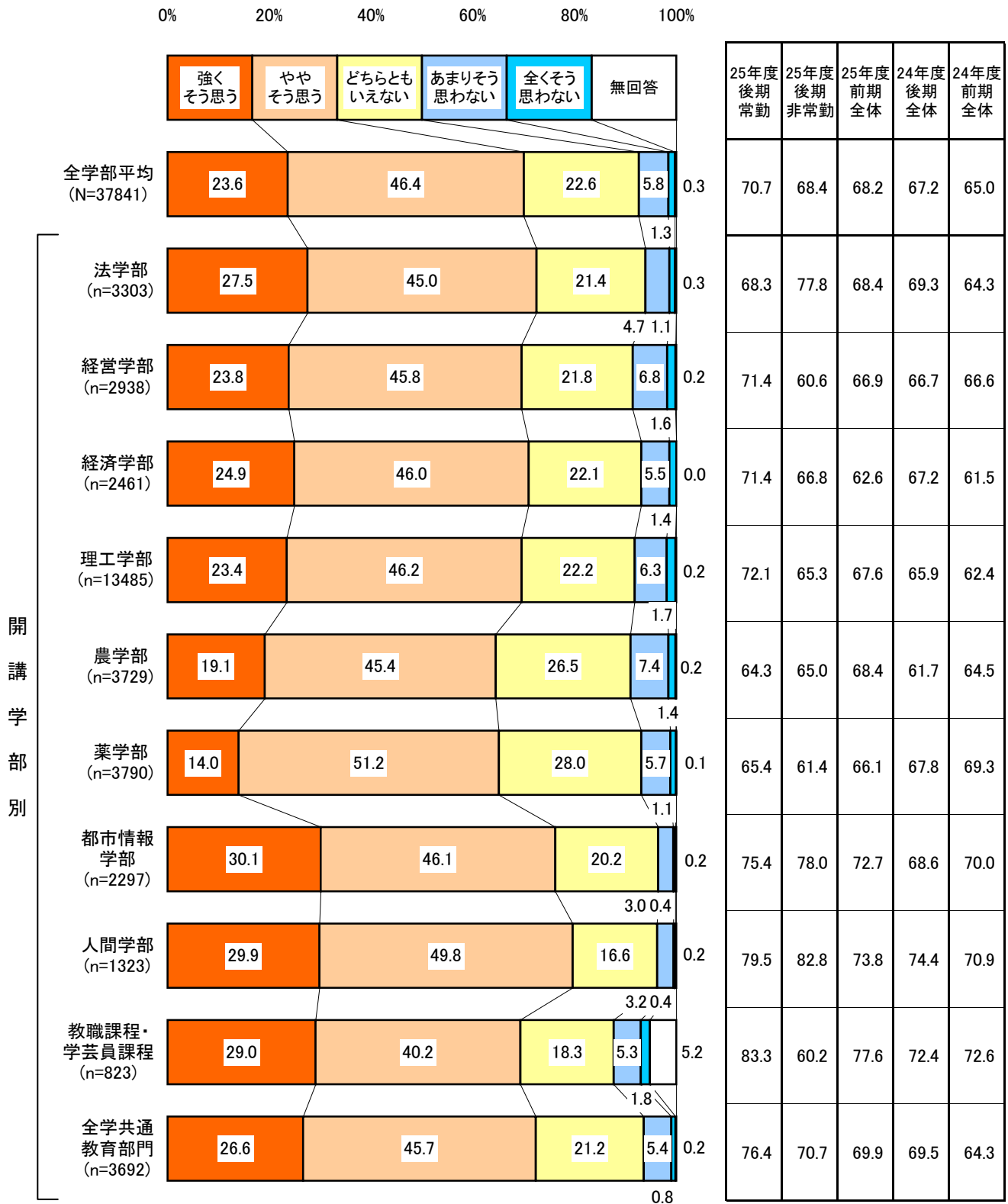
12 基礎データ学生用設問 ポイント

[学生]

7割の学生は、授業において大切なポイントがきちんと提示されていると回答している。中でも人間学部では約8割にのぼる。

【25年度後期】 Q9. この授業では授業の大切なポイントがきちんと示されている。

※グラフは25年度後期のスコア



※数表は「強く思う」+「やや思う」(%)

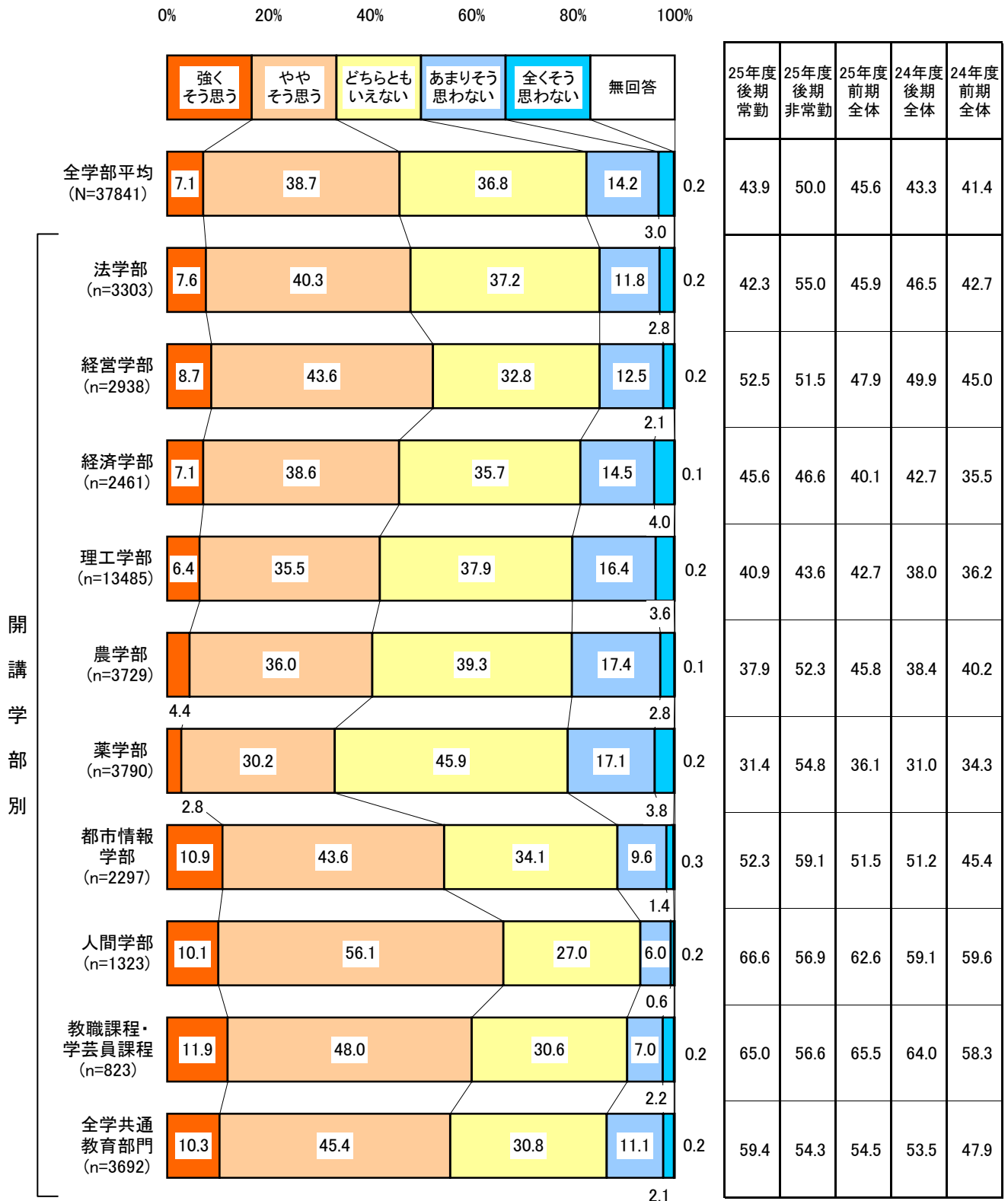
12 基礎データ学生用設問 理解度

[学生]

授業が理解できていると回答した学生は5割弱。人間学部では7割弱、教職課程・学芸員課程では約6割と理解度が高い。

【25年度後期】 Q10. 自分はこの授業が理解できている。

※グラフは25年度後期のスコア



※数表は「強く思う」+「やや思う」(%)

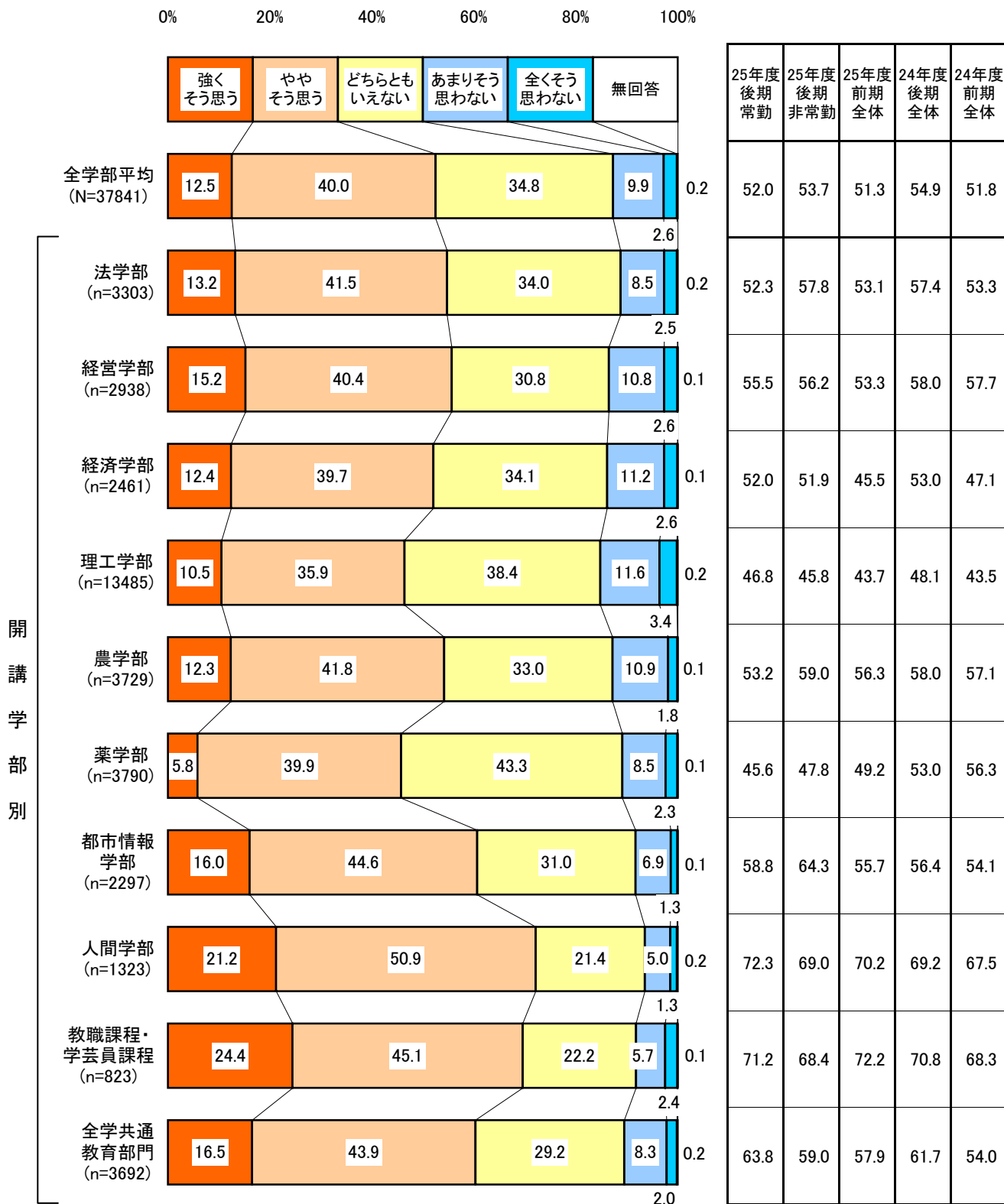
12 基礎データ学生用設問 興味喚起

[学生]

授業によって、学問への興味・関心が引き起こされたと回答した学生は5割強。人間学部、教職課程・学芸員課程では7割前後にのぼり他学部を上回る。

【25年度後期】 Q11. この授業によって、学問への興味・関心が引き起こされた。

※グラフは25年度後期のスコア



※数表は「強く思う」+「やや思う」(%)

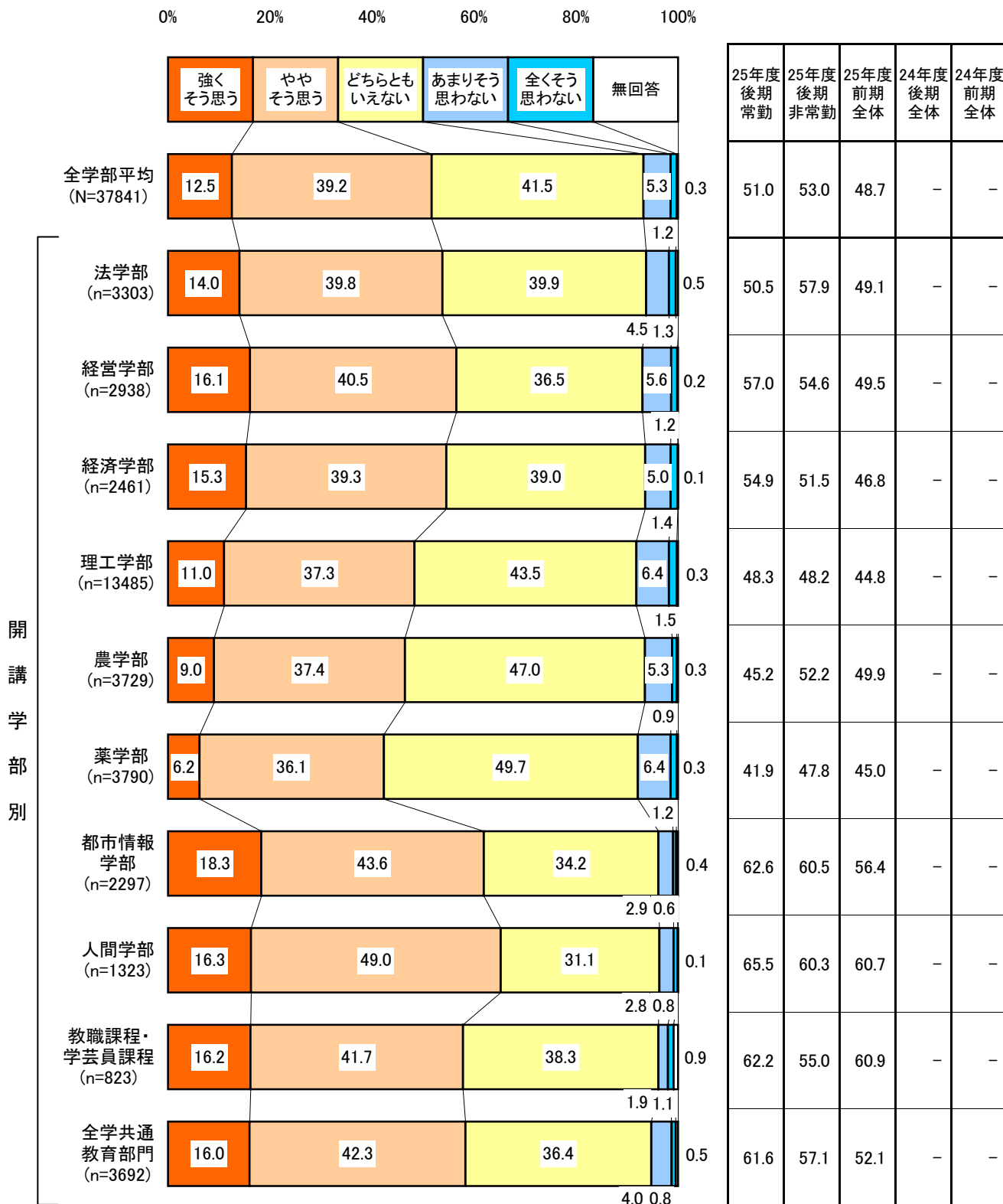
12 基礎データ学生用設問 目標到達

[学生]

5割強の学生が到達目標を達成できたと回答しており、人間学部、都市情報学部では6割台にのぼる。

【25年度後期】 Q12. この授業ではシラバスに示されている到達目標を達成できた。

※グラフは25年度後期のスコア



※数表は「強く思う」+「やや思う」(%)

平成25年度授業改善アンケート
調査結果報告書

発行日：平成26年3月

編集：名城大学FD委員会
名城大学大学教育開発センター

発行：名城大学FD委員会